

小美玉市

まち・ひと・しごと創生総合戦略

## はじめに



国において、人口急減・超高齢化という課題に対し、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するため、まち・ひと・しごと創生法の下に、目指すべき将来の方向を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、そのための5か年にわたる施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

小美玉市においても、このたび策定いたしました「小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」にありますとおり、全国的な傾向と同じく若年層の流出が顕著に現れており、特に女性の減少が目立つ状況にあります。この課題に対し、“ダイヤモンドシティ・プロジェクト”と銘打ち、「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。

「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」の理念は、「ひと・もの・地域資源」に光をあて、磨き、輝かせることです。「ひと」は、市民をはじめ小美玉市に関わる全てのひとを指し、「もの」は、現在市にある特産品や交流施設など、そして「地域資源」とは、霞ヶ浦をはじめとする豊かな自然や歴史・文化などを指します。これらを磨きあげ、市民ひとりひとりがどこにも負けないと自信を持って自慢できるようにしていくことが、とても重要だと考えております。そうして、外見的魅力だけでなく、内面的な部分の魅力を上げていくことで、ダイヤモンドのごとく内から光輝くまち、すなわち「全国で最もダイヤモンドシティの呼び名にふさわしいまち」を目指してまいります。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、各種アンケート調査や団体ヒアリングなど、ご協力をいただいた皆様をはじめ、ワーキングチームの活動にご理解をいただきました関係の皆様や、策定にご尽力いただきました小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、本計画を達成するため、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

小美玉市長 島田 穰一

## 小美玉市総合戦略「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」

公表に寄せて



有識者会議に課せられた大きな課題は、出会い、結婚、出産、子育て、教育、就業など重要な要素をつなぐ横串としてのストーリーをいかにして作るかでした。それぞれに関連性を持たせること自体、極めて難しいことを承知の上で、議論を重ねた結果がダイヤモンドシティ・プロジェクトであり、横串となる概念がシビックプライドとして位置づけられます。

小美玉市総合戦略「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」は、「恋も子育てもしたくなる」、「わく work がとまらない」など、他の自治体のものと比べると、わかりやすく訴求力がある内容になっているかと思います。国の提示する総合戦略の引き写しにとどまらない、他の自治体とは異なるオンリーワンの総合戦略策定を目指し、ターゲットは誰なのかを明確にしたからこそその内容なのです。またその内容もさることながらユニークな言葉使いからも類推できるように、ダイヤモンドシティ・プロジェクトは若手職員が中心になって作り上げました。策定過程で、強く印象に残ったのは彼ら彼女らが目の色を変えて取り組む姿勢と意見交換を繰り返す中で、大きく成長していく姿でした。

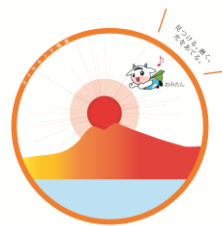
行政職員の優秀さとは、マニュアルに精通していて、前例に従い、下された指示をてきぱきと処理していくことである、とされます。地方創生は、自治体が消滅するかもしれないという危機の中、各自治体に生き残りのために知恵を絞っていくことを迫るものでもあります。言わば過去に前例のない事態でもあり、生き残りのためにはそれぞれの自治体の力量がダイレクトに問われることとなります。地方創生には、人材（財）育成というダイヤモンドの原石を発掘し研磨するという効果もあったわけです。当然に市長をはじめとする執行部や議会の理解や自治体消滅に対する強い危機感がなければ、このような内容とはならなかったはずです。ダイヤモンドシティ・プロジェクトがいよいよ飛び立ちます。

平成 28 年 3 月

茨城大学人文学部 教授 馬渡 剛

## 小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

総合戦略の名称 **ダイヤモンドシティ・プロジェクト**



### 名称に込めた思い

年に2度、筑波山頂に黄金の夕陽がかかる“ダイヤモンド筑波”。

霞ヶ浦湖畔から望むダイヤモンド筑波は小美玉市の誇る風景です。

小美玉市という名前には、「小川の流れや美しい自然とともに、玉のように輝き飛躍する市のイメージが感じられる／小さな美しい宝物、あるいは小さな美しい心を持つふりさになるように／小さな玉が美しく磨かれていく、そんな夢を持てる市になるように（市HPより）」との思いが込められています。

ダイヤモンドシティ・プロジェクトは、小美玉市の地域資源や住民一人ひとりの可能性を小さく美しい宝石（玉）の王様であるダイヤモンドに見立て磨き上げ、光をあてて輝かせていくまちになるという思いを込めた、小美玉市版総合戦略です。

### オンリーワンは名前にあった

小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議の中で“オンリーワンは必ずある”と言われ続け、探し続けました。

全国に誇る地域資源はたくさんあります。霞ヶ浦、茨城空港、牛乳、卵、ヨーグルト、おみたまプリン、れんこん、ニラ、イチゴ、小美玉市まるごと文化ホール…etc。

小美玉市の代名詞としては十分なラインナップですが、オンリーワンと言うからにはこれらをも凌駕し、誰もが誇りとする、唯一の飛び抜けた存在でなければなりません。

灯台下暗し。

オンリーワンは名前にありました。

小美玉市という名前は、県外で初めて出会う人たちから「響きがカワイイ」「意味がステキ」と評判が良い、とワーキングチームで話題になりました。そのとき、小美玉市発足の際、島田穰一小美玉市長が「新たな市、小美玉市は、小さく美しく輝く玉、言わばダイヤモンドです。一人ひとりが輝くまちにしていきましょう」と挨拶されたことを思い出しました。

小川、美野里、玉里が合併したことで生まれた、カワイイ響きとステキな意味の名前。全国広しと言えど、他にダイヤモンドシティにふさわしいまちがあるでしょうか。

ダイヤモンドシティ＝小美玉市。唯一無二の存在です。

## ■ダイヤモンドができるまで

1. 採掘…………… 原石を見つける
2. カット&研磨…………… 本当の価値になるよう磨き上げる
3. 流通&陳列…………… 価値に気づいてもらえるよう光をあてる

## ■ダイヤモンドに重ねる想い

ダイヤモンドの性質		重ねる想い
硬い 壊れにくい	天然の物質の中で最も硬い物質 炭素原子同士の結びつきが異様に強い	固い絆でより深く結ばれ決して壊れない＝人と人の結びつき、永遠の愛を誓う最適の宝石(結婚指輪)
和名：金剛石	仏教典の「金剛不壊(こんごうふえ)」に由来 堅固で壊れない、志を固く守る	志を果たす、結束が固い
傷がつかない	モース硬度 10(最高値)→2種類の鉱石をこすり合わせたときの傷の値	恋に傷がつかない、離婚しない
曇りなく光り輝く	内部屈折率が高く、いつでも曇りなく光り輝く 光のあて方で大きく輝く	いつでも明るく笑って暮らせる家庭 一人ひとりに光をあてる
ダイヤモンドを磨くのはダイヤモンド	ダイヤモンドの原石を研ぐためダイヤモンドの粉末を研磨剤に用いる	大人が子どもたちを磨く 住民が住民を磨く
滑らか	長時間の研磨に耐え、得られた平滑な面	円滑な人間関係
熱伝導率が非常に高い	フライパンなどの調理器具に使われ、耐久性も高い	想いが伝わる 熱い人の想いが広がる
征服できない	語源はギリシャ語の「アマダス＝征服できない」→変化してダイヤモンドに	誇り高い小美玉プライド

## ■ダイヤモンド筑波とは

5月の中旬と7月の中旬の年に2回、筑波山の男体山と女体山の山頂の間に夕日がかかる美しい景色を楽しむことができます。小美玉市内では、玉里地区の霞ヶ浦湖岸地域から、このダイヤモンド筑波を見ることができます。

万葉時代から、多くの歌に詠まれてきた筑波山の姿は、古今を問わず、恋人への想い、故郷への想いなど、様々な想いが託されるシンボルとなっています。



求めているのは自然な出会い。恋に出会える街で、結婚も子育ても、私らしく。

総合戦略  
6ページ

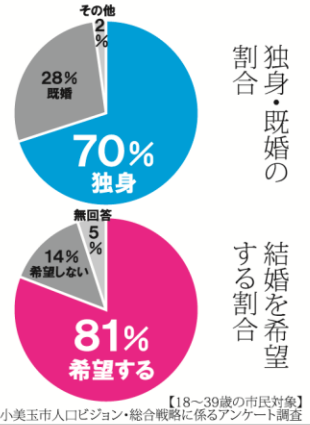
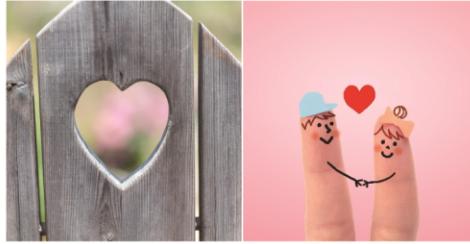
# 恋も子育てもしたくなるまちになる。

## 1. 私はこのまちで恋をする

～ダイヤのように固く結ばれる恋を～

## 2. だから私はこのまちで楽しく子育てをする

～ダイヤのように明るく輝く家庭を～



…このマークは政策分野の重点プロジェクトで、マーケティングと物語性によるアプローチをしています。

### 施策01

#### 恋のあこがれをプロデュース

【第1階層「結婚年齢未到達層」】

恋愛・結婚イメージアップ

- ・オリジナル婚姻届と提出時記念撮影
- ・世界に一つだけの結婚式ムービー（プロモーションビデオ）
- ・ダイヤモンド筑波の「恋人の聖地化」



### 施策02

#### 恋に出会うストーリー

【第2階層「結婚興味なし層」】

25歳、30歳の同窓会応援

【第3階層「街コン・合コン恥ずかしい層」】

大人の友達づくり

- ・新しい友活の始め方
- ・文化、スポーツサークルの多様化

【第4階層「合コン積極的層」】

多彩な合コン・街コン

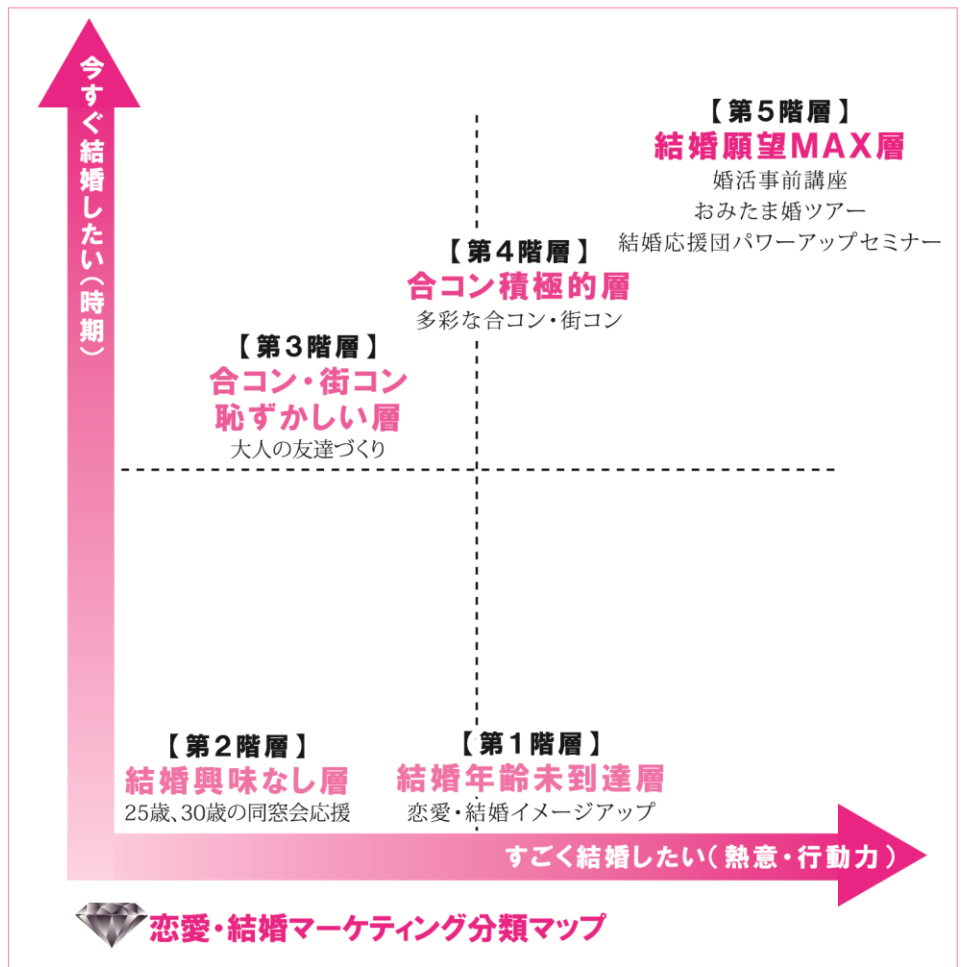
- ・異業種コン、趣味コン、屋台村コン、アートイベントコン、大人数コン等

【第5階層「結婚願望MAX層」】

婚活事前講座

おみたま婚ツアー

結婚応援団パワーアップセミナー



### 施策03

#### 人生設計のデザイン

人生収支シミュレーション事業

- ・若者の経済的不安解消

### 施策04

#### 親子の健康をサポート

子育てタクシー

ママ・パパ相談室(保護者のメンタルケア支援)

### 施策06

#### 子育て家族に優しいまちの創出

イクメン成長物語事業

出産子育て情報アプリ

子連れに優しい店舗の推奨

民間事業者と連携した子育て支援施設の建設

子育てワンストップ窓口(ネウボラ)推進事業

家族を育てるプロジェクト

### 施策07

#### 多子世帯・子育て世帯への経済的支援

家賃・住宅取得補助事業

出産祝い事業

不妊治療費助成制度

医療費助成事業

### 施策05

#### 子育て安心サポート

ママ・パパリフレッシュ事業

待機児童ゼロ継続事業



恋愛にもマーケティングを活かすと  
前向きになれるって知ったの。



「街コンとか合コンってガツガツしてる  
感じがして行きづらい」。理想は、自然に  
出会って、だんだんと仲良くなつて、いいな  
と思つた人と付き合いたい。でもそんな  
に自然な出会いなんて、そうそうない。

友達に誘われて、人生設計のワーク  
シヨップを受けてみた。実現したいことは、  
エクステとネイルの店を持つこと、子ども  
を3人持つこと、そして両親の近くに住む  
こと。ここで教わつたマーケティングを恋愛  
にも応用して分析・分類。「小美玉に移住  
OK・自分の店を持ちたい人・30歳までの  
美容師」にターゲットインク。絞り込んだら  
不思議と勇気が湧いてきて、美容師が  
集まる合コンに参加。東京で美容師をし  
てる運命の彼と出会つた。

プロポーズは、私が生まれ育つた霞ヶ浦  
湖畔で、ダイヤモンド筑波をバックにと  
決めている。これから彼にお願いするの。



「あたりまえ」が「ありがとう」に変わった。愛着と誇りが生まれた。

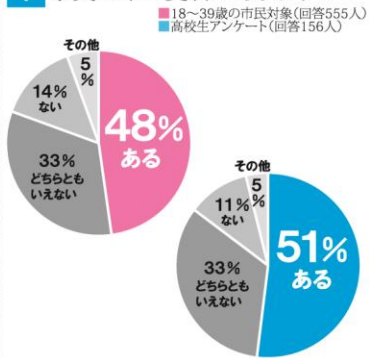
総合戦略  
17ページ

# 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる。

1. 地域資源を活かす  
～見つけて磨いて光をあてる～
2. 公民連携に光をあてる  
～みんなで磨く～
3. 新たな地域デザインを見つける  
～みんなで光る～



？ 小美玉市に愛着がありますか？



小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査



…このマークは政策分野の重点プロジェクトで、マーケティングと物語性によるアプローチをしています。



## 施策01

### 文化のまちのストーリー

文化芸術によるシビックプライド醸成  
小美玉市まるごと文化ホール計画  
本が身近にあるまち事業

## 施策02

### 空のエリアの活性化

空のイメージづくり事業  
インバウンド向け旅行情報提供

## 施策03

### 陸のエリアの活性化

JR羽鳥駅及び駅前広場整備事業

## 施策04

### 水辺のエリアの活性化

サイクリングロードパーク事業  
水辺のイベント事業  
霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備事業

## 施策05

### おみたまブランドの確立

魅力創造発信事業  
ヨーグルトサミット・スイーツフェスタ開催  
FOREST FARM事業  
農家レストラン事業  
6次産業化支援事業

## 施策06

### 交流の活性化

小美玉ファンクラブ拡大事業  
身近なみどり体験事業  
市長と市民のランチミーティング事業

## 施策07

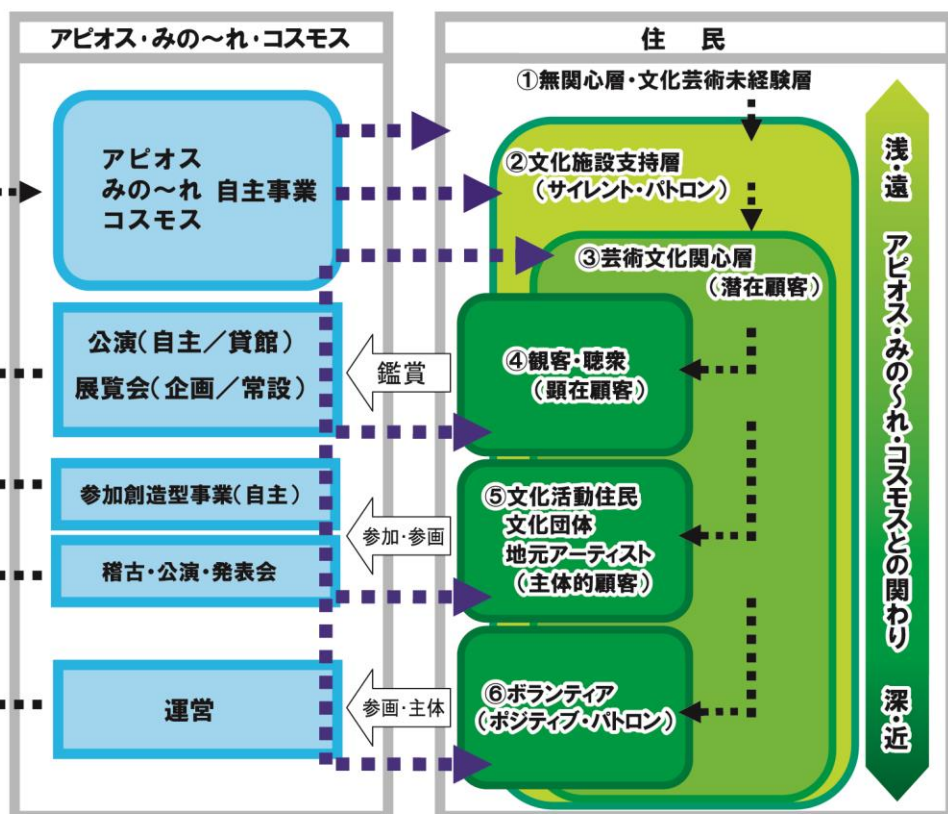
### 自由度の高い公民連携の促進

プロジェクトチームの組織化  
民間事業者コラボレーション事業

## 施策08

### 行政区の新たな仕組みづくり・見える化

移住者向けコミュニティ情報発信事業  
まちづくり組織支援事業の拡充  
コミュニティ拠点づくり事業  
まちづくり基金の設立



## 小美玉市の文化のサイクルマップ





小美玉の恵みに気づいたら、アタシの心に誇りが生まれた。



「ありがとう」の反対は「当たり前」なんだけ。東京の彼が言うには、小美玉は「有るのが難しいコト・モノがいっぱいある。」  
ちっちゃい頃から地元牛乳を飲んで育った。納豆、卵、イチゴ、ブルーベリー、ニラ、レンコン、etc. 食べ物だけじゃない。アタシが太鼓を始めたのも、クラスに太鼓奏者が来て、惚れ込んだのがきっかけ。それに、仕事が終わってからも茨城空港から旅に出られる。それと、アタシの大好きな風景「ダイヤモンド筑波」改めて知る、小美玉の恵み。  
そうしてみると、「有り難い」ことだらけに気づく。切り拓いた先人たちによって、いまのおいしい食卓がある。太鼓との出会いも、全クラスに派遣する小美玉の文化政策だと知った。いろんなことに気づいたら、自分でも何かをしたくなった。彼いわく、それが「シビタクプライド」ってヤツらしい。



いつでも楽しい夢を見てシゴトするのが好きなのさっ♪

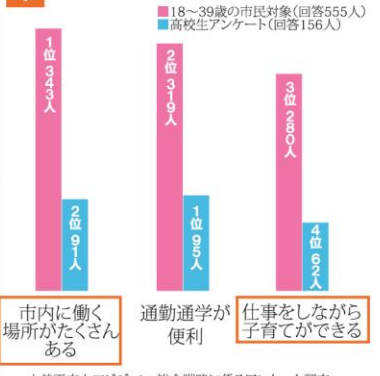
総合戦略  
30ページ

# わくworkがとまらないまちになる。

1. あらたな「働く」をカタチにする  
～原石を見つけ、磨き上げる～
2. あなたの「働く」を応援する  
～ダイヤモンドのように輝いて～



? 小美玉市の人口を増やすには?



小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査



…このマークは政策分野の重点プロジェクトで、マーケティングと物語性によるアプローチをしています。



## 施策01 わくworkストーリー

- 【第1階層「起業不安層」】  
就農・創業スタートアップ事業
- 【第2階層「起業関心層」】  
ビジネスコンテスト事業  
地域拠点の魅力づくり事業
- 【第3階層「起業後層」】  
起業フォローアップ事業

## 施策02 小美玉発のオンリーワン

- チャレンジ拠点整備事業
- 地域ブランド力強化事業
- ゴールドラッシュ事業(ニッチ産業創造)

## 施策03 企業さん、いらっしゃ〜い

企業誘致事業

## 施策04 小美玉企業の見える化

- 市内企業魅力発信事業
- 市内就職ウェルカム事業

## 施策05 働き手キラキラプラン

- みらい人材育成事業
- 働き手・支え手しゃべり場事業
- がんばるシニア層応援事業

## 施策06 ハッピーウーマン増し増しプラン

- 在宅ワーク事業
- 女性が輝く元気企業応援事業



小美玉に住んでてよかった。  
金脈のまちで、アタシも。



「小美玉には金脈が走ってる」。学校の先生から聞いた話。生まれも育ちも小美玉だけと、そんなこと二度も聞いたことなかった。確かに著名な経営者や財界人がいるみたいだし、風水的にいいところらしい。そんなふうに地元を見たことがなかった。地元は好きだ。ここで好きな仕事ができるなら、まあいいかなと思う。友達も地元に戻ってきてるし、親も安心させたいし。磨いてきた腕を生かした仕事が見たい。結婚して子どもが生まれても、仕事と両立したい。できるなら自分の店を持ちたい。結婚して東京の彼と一緒に創業スタートアップセミナーに参加して、二人とも自信と決意が固まった。開業資金の優遇を受けられるまちでよかった。創業後も専門家のアドバイスを受けられる制度が整ったまちでよかった。金脈が走るまちに、住んでてよかった。



このまちをイキイキ語るあの人が決め手でした。

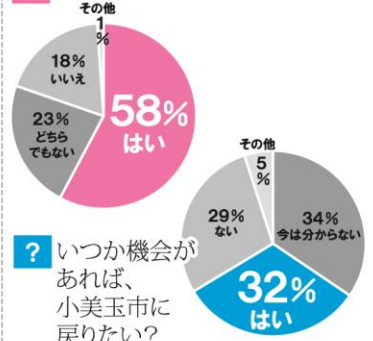
総合戦略  
39ページ

# スーッと、ず〜っと住めるまちになる。

1. 小美玉が恋しくなっちゃう  
～離れて気づく、ダイヤのように硬い想い～
2. 小美玉に住みたくなっちゃう  
～あなたにダイヤのような輝きを～
3. 小美玉から離れられなくなっちゃう  
～育つ絆はダイヤのように永遠に～
4. 小美玉がうらやましくなっちゃう  
～ダイヤのように魅力を放つ～



? 小美玉市は住みやすかった?



3年以内に小美玉市から市外に転出した方(回答119人)  
小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査



…このマークは政策分野の重点プロジェクトで、マーケティングと物語性によるアプローチをしています。

## 施策01

### 「おかえり」ストーリー

小美玉ガイドンス事業  
オミターン制度

## 施策02

### 「いらっしゃい」ストーリー

小美玉トライアル事業  
移住相談会事業  
移住・住み替えコンシェルジュ事業  
移住促進住宅取得助成事業

## 施策03

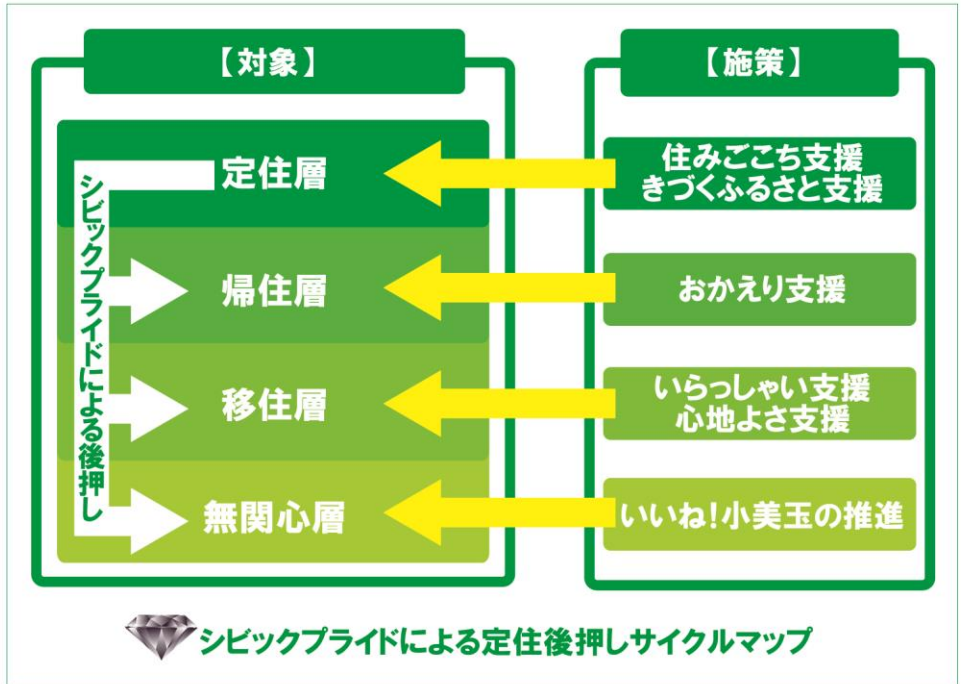
### 「心地よさ」ストーリー

女性定住支援事業  
空き家REBOOT(空き家活用)事業  
未利用市有地の活用事業

## 施策04

### 「住みごこち」ストーリー

地域家族支援事業(住宅ローン支援制度)  
三世代近住促進事業



シビックプライドによる定住後押しサイクルマップ



## 施策05

### 「きづくふるさと」ストーリー

学校におけるシビックプライドの醸成  
地域におけるシビックプライドの醸成



## 施策05

### 「いいね!小美玉。」ストーリー

トータルデザインによるシティセールスの推進  
総合戦略PR事業  
メディア戦略事業  
小美玉ONLY ONEプロジェクト



「いんやー、アカケたなー」。都内から帰省すると、じいちゃんはいつもそう言う。洗練されたことなのかな。たぶん褒め言葉。確かに地元じゃ浮いてる気がする。これでも地味目してきたんだけど。じいちゃんは最近スマホを持った。早速SNSも始めてアタシに友達申請してきた。いつの間にか彼とも友達になつてる。じいちゃんは毎日SNSを書いている。ほぼ、地元の恋愛もない話題が多いが、時折マーケティングやシティーセールスなんて言葉を使う。最近近所に移り住んだ「わけえし(若者)」の影響らしい。じいちゃんの仲間も「わけえし」にいろいろ教わつてらしい。彼がじいちゃんの記事に「いいね」しまくって、「小美玉アツイね」とか言ってる。確かになんだか小美玉は最近アツイし、カワイイし、アカケてる気がする。



語りだす人がいるまちは、きつと元気に違いない。



CHECK-IN  
登机手续

航空券購入 CHECK-IN, TIC  
登机手续 机票购买





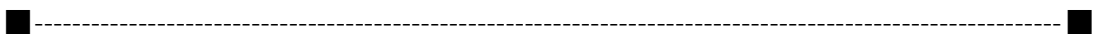
■ --- 目 次 ----- ■

1. 基本的な考え方.....	1
2. 総合戦略策定にあたっての理念と体制.....	4
3. 小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略.....	6
■政策分野1 恋も子育てもしたくなるまちになる .....	6
■政策分野2 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる .....	17
■政策分野3 わく work（ワーク）がとまらないまちになる .....	30
■政策分野4 スーッと、ず〜っと住めるまちになる .....	39
4. 総合戦略の実現に向けた方策.....	49

参考資料

1) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱.....	51
2) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿.....	52
3) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部設置要綱.....	53
4) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部名簿.....	54
5) 小美玉市地方創生ワーキングチーム設置要綱.....	55
6) 小美玉市地方創生ワーキングチーム名簿.....	56
7) 小美玉市地方創生ワーキングチーム活動記録.....	58
8) 策定経緯.....	59
9) 数値目標設定 .....	61
10) 具体的事業一覧.....	62

若手職員ワーキングチームのあゆみ







# 1. 基本的な考え方

---

## ■国が示す総合戦略の基本的考え方

### 1. 人口減少と地域経済縮小の克服

我が国は2008年をピークに人口減少局面に入っており、2050年には9,700万人程度まで減少すると推計されます。特に地方における若い世代の流出は、諸外国と比べても著しい状況です。「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラル（悪循環の連鎖）により、地方が弱体化するならば、大都市もいずれ衰退していくことは必至です。人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるため、以下の基本的視点から、人口、経済、地域社会の課題に対して一体的に取り組みます。

- ①「東京一極集中」を是正する
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
- ③地域の特性に即して地域課題を解決する

### 2. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

#### ①しごとの創生

- ・「相応の賃金」＋「安定した雇用形態」＋「やりがいのあるしごと」といった『雇用の質』の確保・向上
- ・地域経済の核となる企業・事業の育成、企業の地方移転、新たな雇用創出、地域産業の活性化への取り組み等、『雇用の量』の確保・拡大
- ・女性がその地域に魅力を感じ、住み続けられるよう、地域における女性の活躍を推進

#### ②ひとの創生

- ・若者の地方での就労を促すとともに、地域内外の有用な人材を積極的に確保・育成し、地方への移住・定住を促進するための仕組みを整備
- ・仕事をしながら、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚から妊娠・出産・子育てまで、切れ目のない支援を実現

#### ③まちの創生

- ・地方での生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、安心して暮らせる「まち」の集約・活性化

## まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

### (1) 自立性

- ・各施策が一過性の対症療法的なものにとどまらず、構造的な問題に対処し、地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるようなものであるようにする。

### (2) 将来性

- ・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。

### (3) 地域性

- ・国による画一的手法や「縦割り」的な支援ではなく、各地域の実態に合った施策を支援することとする。

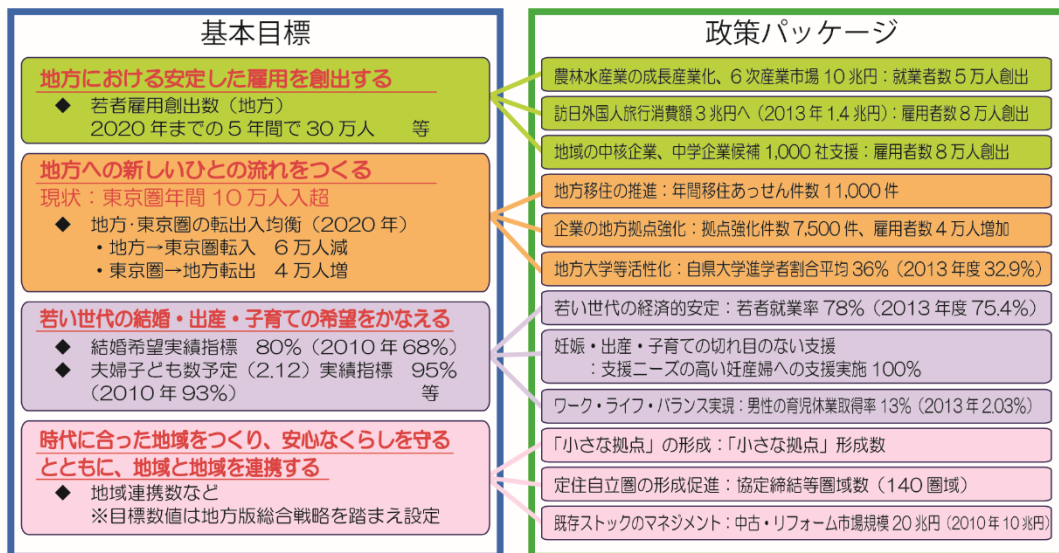
### (4) 直接性

- ・限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、ひとの移転・しごとの創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施する。

### (5) 結果重視

- ・明確な PDCA メカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

## 総合戦略【2019年までの5か年】

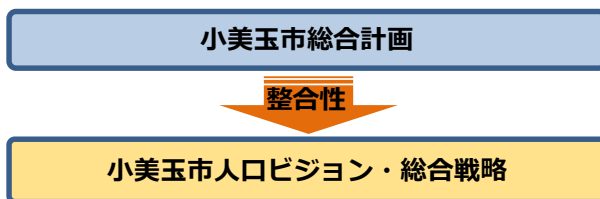


■総合戦略における本市の役割

本市の総合戦略は、茨城県や周辺都市との連携を図りながら、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を展開します。

■総合計画と総合戦略との関係性

総合戦略は、本市の上位計画である総合計画との整合を図りながら、特に若者の定住促進や雇用対策、結婚の支援などの人口減少対策に重点を置いて、実現性と実効性のある戦略として策定するものです。

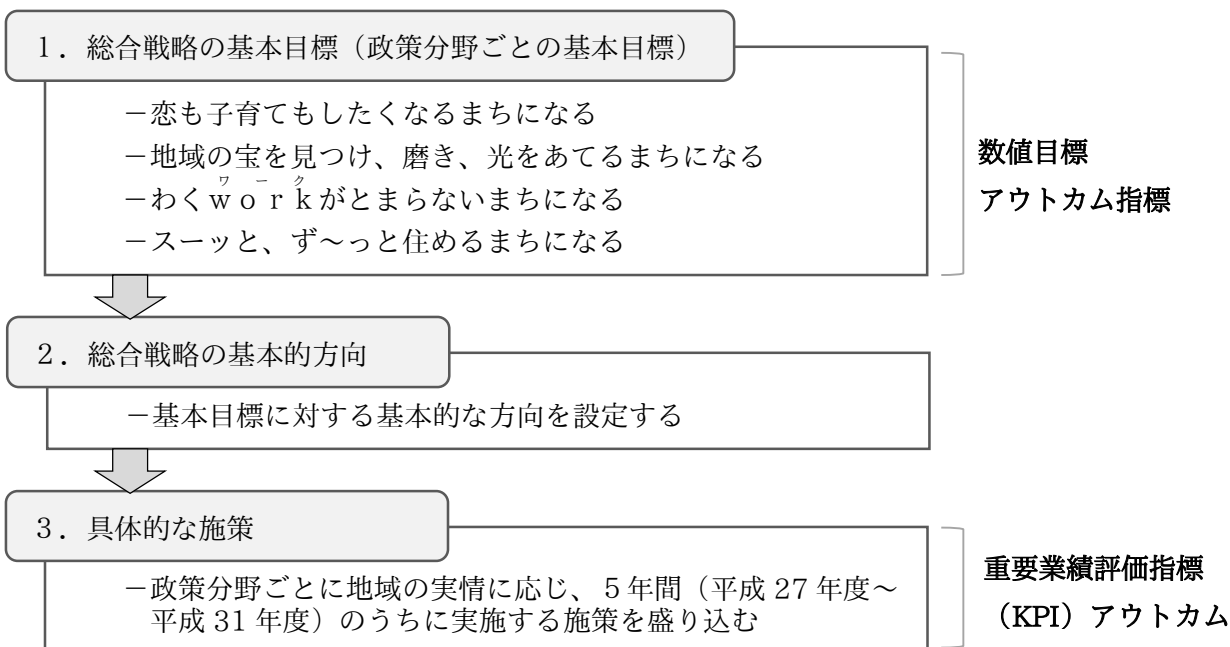


なお、若者に加え、本市に住むすべての人が安心して自立した生活を送るための地域福祉、高齢者福祉及び教育、生活環境、都市基盤、行財政など市が取り組むべき施策全般については、市総合計画に基づき、着実な施策展開を図ってまいります。

■総合戦略の構成と期間

◇総合戦略の構成

総合戦略は、基本目標を実現するための基本的方向と、具体的な施策により構成されます。基本目標、具体的な施策に対して、それぞれアウトカム指標(成果指標)を設定します。



◇総合戦略の期間

計画期間は、平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）の5か年とします。

## 2. 総合戦略策定にあたっての理念と体制

### 小美玉市の課題に対するミッション確認

#### ①人口減少対策

- ・子どもが減っている、若い人が都市部に流出している、特に20歳代女性が流出している現状がある
- ・若者は市外で就職、居住を希望する人が多く、若者の意識を変えていくことが必要

#### ②定住促進

- ・今住んでいる人に住み続けてもらうために、必要なことは何か
- ・「帰ってきたい」、「移住したい」をつくるために、何をしたらよいか

### マーケティングにもとづいた総合戦略の立案

↓ 現状の分析／本市がもつ「強み」、「弱み」、「社会情勢を含めた機会」、「脅威」の4つの視点から分析

↓ 課題、対象の分類／誰が、何を必要としているのか

↓ ターゲティング／ターゲットを絞り、目的を明確にする

↓ 戦略立案／対象に届かせる戦略を立案する

### 20～30歳代の流出を食い止める

#### ■若者をターゲットとして戦略を立てる

- ・女性にとって住みやすいまち、魅力のあるまちをつくる
- ・流出するきっかけとなる人生の岐路（就職、独立、結婚、家を建てる）において住みたいと思えるまちをつくる
- ・若者の流出を食い止めることで、高齢者を支える社会の担い手が増え、誰もが安心して暮らせるまちをつくる（若者や子どもを増やすことは、地域の活性化、税収の増加につながり、高齢者を支える基盤づくりが可能となる）

### 総合戦略策定にあたっての理念

#### ■小美玉市民としての誇り

人生の岐路で選択肢に入る。そして選ばれるまちになる。

#### ■飛翔するまち小美玉

ネットワークや拠点の充実を強みに。（羽鳥駅橋上化・空港アクセス道路の機運に乗せて）

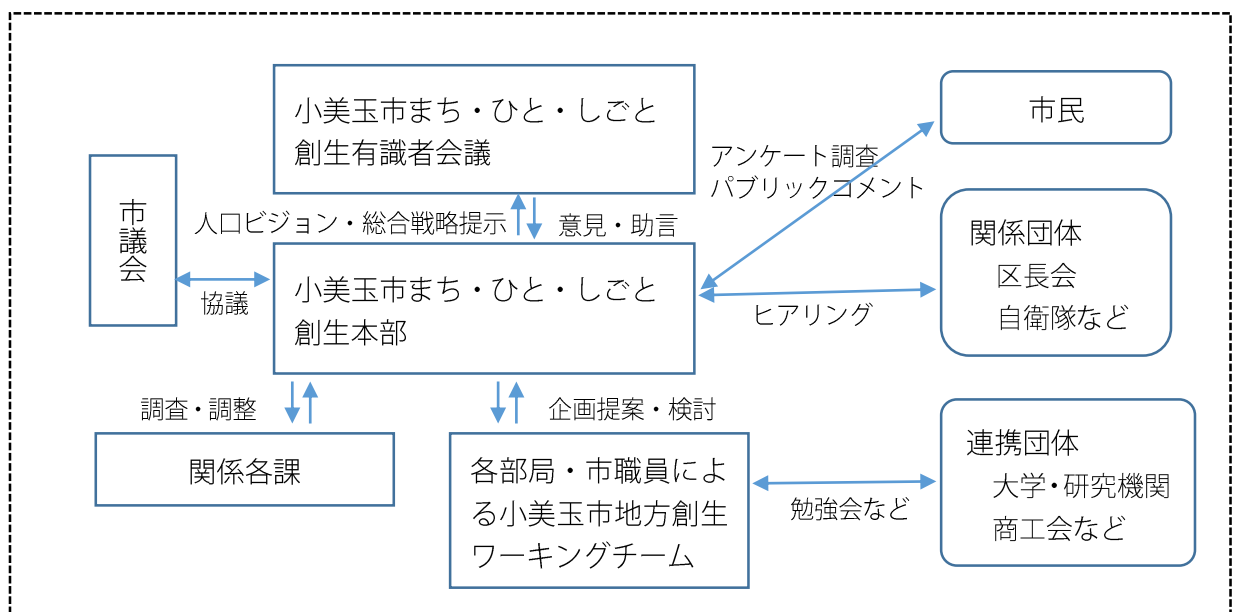
#### ■マーケティングを用いた自治体経営

多様な世代に的確に対応するにはマーケティングが不可欠。

## 総合戦略策定体制

総合戦略の策定にあたっては、まち・ひと・しごと創生に関する施策を全庁的に推進するため、小美玉市まち・ひと・しごと創生本部および、若手職員を中心とする小美玉市地方創生ワーキングチームを設置し、関係各課との調整を図りながら策定を進めます。

また、市民活動団体をはじめ、産業界、大学、金融機関などの分野から様々な意見をうかがうため、有識者会議を設置します。市民を対象としたアンケート調査、関係団体のヒアリング、連携団体との研究・勉強会などを通して、幅広いニーズを視野に入れた総合戦略の策定に努めます。



■茨城大学との連携



■商工会青年部との勉強会



### 3. 小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

政策  
分野

1

恋も子育てもしたくなるまちになる



■政策分野 1  
恋も子育てもしたくなるまちになる

現在、日本では、生涯未婚率や初婚年齢が高くなっており、生まれてくる子どもの数も減ってしまっています。

つまり、若い世代が結婚しなければ、子どもも生まれてこないというのが現状です。

結婚したいという思いはあっても恋人のいない独身者が多いのは、出会いの場が少ないことが一つの要因となっています。

小美玉市の総合戦略では、結婚を支援する施策に重点を置きながら、これまで推進してきた子ども・子育て支援を着実に実行し、若者が結婚したくなる、また子育て世代が安心して子どもを産み・育てることができる環境をつくります。

【基本的方向と具体的施策】

基本目標を実現するために講ずべき施策に関する基本的方向	具体的施策
<p>1. 私はこのまちで恋をする ～ダイヤのように固く結ばれる恋を～</p> <p>恋愛・結婚のイメージアップを図るとともに誰もが参加し たくなる出会いの場の創出を積極的に展開することで、小美 玉市に住む未婚の若者が、だんだん結婚したくなるまちを目 指します。</p>	<p>01. 恋のあこがれをプロデュース 02. 恋に出会うストーリー 03. 人生設計のデザイン</p>
<p>2. だから私はこのまちで楽しく子育てする ～ダイヤのように明るく輝く家庭を～</p> <p>出産から子育て期の幅広い期間を通して、親子の健康サ ポート、教育・保育の充実に努めるとともに、子育てする 家族を地域で歓迎し支援する仕組みづくりに取り組みます。 また、若者、多子世帯をはじめ子育て世帯の経済的負担を 軽減することで、希望する子ども数を実現し、だんだん子 どもが増えるまちを目指します。</p>	<p>04. 親子の健康をサポート 05. 子育て安心サポート 06. 子育て家族に優しいまちの 創出 07. 多子世帯・子育て世帯への 経済的支援</p>

【基本目標】

基本目標	現況値	目標値 (平成 31 年度)
結婚を希望しない若者の割合 (アンケート調査)	14.1% (平成 26 年度)	10.0%
平均初婚年齢 (男)	29.6 歳 (平成 24 年度)	28.0 歳
平均初婚年齢 (女)	28.2 歳 (平成 24 年度)	25.0 歳
合計特殊出生率	1.51 (平成 20～24 年 ベイズ推定値)	1.8

※「ベイズ推定値」は、ベイズ統計学の手法を用い、偶然に発生した特異値による変動を抑え、安定的な推定値を求めるために用いられる。

【具体的施策】

## 01. 恋のあこがれをプロデュース

恋愛・結婚のイメージアップを図り、これまで結婚に無関心だった人、結婚したいけれどまだ早いと感じている人が、結婚したくなるような取組を進めます。

そのため、様々な媒体を通して「結婚」がもつ「幸せ」なイメージをPRし、小美玉市の若者の結婚をサポートしていきます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
婚姻件数	278 件	333 件
結婚を希望する割合（アンケート調査）	80.7%	83.0%
オリジナル婚姻届利用率	—	100%

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

具体的事業の番号表記

■ 1（政策分野番号）-01（施策番号）-1（事業番号） | （具体的事業名）

【具体的事業】

### ■ 1-01-1 | 恋愛・結婚イメージアップ

小美玉市内の思い出の場所で挙式をしてもらい、結婚式のプロモーションビデオ作成を補助し、市の「恋愛・結婚イメージアップ」のため作成するプロモーションビデオの素材とする。また、小美玉市オリジナル婚姻届の作成や、婚姻届提出時に記念撮影をするなど、結婚を記念するしかけづくりをする。さらに、広報紙・SNS・ホームページで新婚紹介記事を掲載し、結婚に対する好意的・積極的な意識づけを図る。

ダイヤモンド筑波が見える場所を“恋人の聖地”化することなどを検討する。



【具体的施策】

## 02. 恋に出会うストーリー

---

未婚の若者たちが結婚を考えたとき、学校、職場や日常の交友関係の中では出会いの場が限られるものの、人生の伴侶との出会いは、日々の生活シーンの中で自然に訪れることが望まれています。

そこで小美玉市では、市が通常の事業として取り組んでいるイベントやサークル活動、同窓会などをきっかけに若者たちが出会う機会の拡大を図ります。

また、婚活を積極的に進めている人をサポートするために、既存の婚活事業の充実を図るとともに、民間やNPOが実施する婚活事業の支援や相談体制の充実を図るなど、合コン日本一のまちを目指します。

【重要業績評価指標】

KPI（重要業績評価指標）	基準値（平成26年度）	目標値（平成31年度）
出会いサポート事業イベント参加者数	—	500人／年
同窓会申請者数	—	300人／年

【具体的事業】

### ■1-02-1 | 25歳、30歳の同窓会応援

---

25歳、30歳の小美玉市出身者の同窓会開催を支援し、友人との再会の場を設け、地域経済の活性化や定住を促進するとともに、ふるさとへの回帰のきっかけづくりを目指す。

### ■1-02-2 | 大人の友達づくり

---

市民の日記念事業、公民館講座、茨城空港利用促進協議会事業や、四季文化館みの～れ、小川文化センターアピオス、生涯学習センターコスモスが開催するイベント等、既存のイベントに若者が交流できるものを盛り込み、参加しやすい交流の場を設ける。また、17時以降のサークル活動の施設使用料の減免、サークルの紹介、マッチング等により、男女の交流の場となるサークル活動の多様化を促進する。

### ■1-02-3 | 多彩な合コン・街コン

---

夜空(そら)コンの継続的な開催をはじめ、異業種の交流する場や農産物を収穫する体験型のイベント等を開催する。

#### ■1-02-4 | 婚活事前講座

---

コミュニケーション講座やファッション・マナー講座等の婚活に必要なスキルを習得する講座を民間と協力して実施する。

#### ■1-02-5 | おみたま婚ツアー

---

都会の独身女性へ地方で暮らすことを提案する体験型ツアーを実施する。人生設計のライフプラン講座や移住促進支援プログラムを通して、小美玉市で結婚することや家庭をもつことの意味や楽しさを理解してもらう。また、地域の仕事や暮らしを体験し、自然な流れの中で、地域の同世代の男性との交流を深め、小美玉市へ暮らすことのイメージを具体化してもらう。

#### ■1-02-6 | 結婚応援団パワーアップセミナー

---

結婚したい方を応援する人に対し、さらなるスキルアップのためにセミナーを開催する。後に情報交換などを目的とした応援団を結成する。

【具体的施策】

### 03. 人生設計のデザイン

---

若者世代は、まだ経験したことのない結婚や出産に漠然とした不安を抱いています。これらの不安を解消し、自らの将来のライフデザインを設計することができれば、今より結婚や子育てに対して積極的になれるかもしれません。

小美玉市では、若者が将来にわたって小美玉市で生活していくイメージを確立するため、ライフデザイン講座の開設や経済的な不安解消の取組を推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
ライフデザイン講座受講者数	—	100 人／年
結婚に対する経済的不安（アンケート調査）	59.6%	55.0%

【具体的事業】

#### ■ 1-03-1 | 人生収支シミュレーション事業

将来に漠然とした不安を抱いている 20～30 歳代の若者を中心としたライフデザイン講座を開催。また、小美玉市で働く若者・子育て世帯が受けられる支援をストーリー性を持たせて紹介する冊子等を作成する。さらに、小美玉市に住み続けた場合と、都内に移り住んだ場合の生涯収支や住環境をデータで比較したパンフレットを作成し、高校生、大学生世代を中心に配布する。

【具体的施策】

04. 親子の健康をサポート

子どもを産む時期について悩んでいるカップルの支援や、初めて出産・育児を経験するママや、サポートするパパが安心して出産・育児ができるような親子の健康サポートに取り組めます。そのため、子育てタクシーをはじめとする出産時のサービスの利用促進に努めます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
子育てタクシーの導入	—	実施事業所 2 社
母子保健事業の内容充実	妊婦教室 12 回 育児相談 12 回 10 か月児相談 12 回	妊婦教室 12 回 育児相談 12 回 10 か月児相談 12 回

【具体的事業】

■ 1-04-1 | 子育てタクシー

住所・掛かりつけ病院・出産予定日などを事前に登録し、陣痛時に素早くタクシーで病院へ向かうことができる環境を整える。また、市内のタクシー会社が全国子育てタクシー協会に入会することを促進する。さらに、陣痛時だけでなく、乳幼児の急病時のタクシーの対応も促進する。

■ 1-04-2 | ママ・パパ相談室（保護者のメンタルケア支援事業）

子育て中の親が抱えるメンタル面の問題を、定期的に専門家に相談できるような環境を整備する。既存事業を継続し、小美玉市の魅力として情報発信する。

【具体的施策】

## 05. 子育て安心サポート

---

共働きで忙しかったり、近所に頼れる人がいなかったりする若い夫婦にとって、出産後の子育ては大変不安なことです。仕事を持つ親が、安心して復帰できるよう、待機児童ゼロを継続するとともに地域における多様な子育て支援の充実を図ります。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
待機児童ゼロ継続	0 人	0 人

【具体的事業】

### ■ 1-05-1 | ママ・パパリフレッシュ事業

---

地域の中で助け合い、子育て中の親がリフレッシュできる仕組みをつくり、子育て中の親の心理的・身体的負担を軽減する。「在宅福祉サービスセンター」（社会福祉協議会への委託）の充実を図る。

### ■ 1-05-2 | 待機児童ゼロ継続事業

---

育休明け、産休明けに安心して職場に復帰できるよう、現在の待機児童がない状態を継続していくように努め、ニーズに対応した教育・保育施設（認定こども園・幼稚園・保育所）の確保を図る。

【具体的施策】

## 06. 子育て家族に優しいまちの創出

核家族化が進行し、共働き家庭が増えている状況の中、子育ての第一義的責任は親にあることはもちろんですが、子育てする家族を取り巻く地域の力が大きな支えとなることは言うまでもありません。

小美玉市では、ICT（Information and Communication Technology 情報・通信関連技術）を活用した子育て支援情報を提供するとともに、仕事と生活の調和を図る観点から、家事や育児における父親の参画意識を醸成します。また、民間事業者と連携した子育て支援や行政からのきめ細かな情報提供など、地域で歓迎する子育ての仕組みづくりを進めます。

【重要業績評価指標】

KPI（重要業績評価指標）	基準値（平成26年度）	目標値（平成31年度）
子ども連れに優しい店舗事業の支援店舗数	—	5件／年
出産子育て情報アプリの提供	—	アプリダウンロード数5,000件
民間と連携した子育て支援施設検討プロジェクトの立ち上げ	—	1件

【具体的事業】

### ■1-06-1 | イクメン成長物語事業

父親となる人を対象とした講座を開設し、パートナーの妊娠・出産への理解を深め、緊急時に対応できる知識を習得する。また、子どもがいる父親を対象として、母親が不在のときの過ごし方などの講座を開設する。ハローベビー教室の充実と周知対象の拡大を図る。イクメン（ママと一緒に子育てを楽しむ男性）→カジダン（家事に積極的に取り組む男性）→域メン（地域で活躍する父親、男性）→イクボス（従業員や部下の育児参加に理解のある男性の経営者や上司）→イクジイ（孫世代の育児に関わる男性）と男性の各ライフステージに合わせた事業展開を図る。

### ■1-06-2 | 出産子育て情報アプリ

保育所・幼稚園・病院等の施設情報、公園や施設の行事やイベント、予防接種のお知らせ等、出産・子育て世代が必要な施策や情報が一括で分かるアプリを作成する。また、子育て世代の親と共同でアプリ作成チームを発足し、アプリの運営を進める体制をつくる。

※「アプリ」は、スマートフォンで使用するソフトウェア。

### ■1-06-3 | 子ども連れに優しい店舗の推奨

子どもを連れていても、安心して食事や買い物、サービスが受けられる環境を整備する店舗に対し支援を行う。また、駐車場へのマタニティマークの設置を助成する。

### ■1-06-4 | 民間事業者と連携した子育て支援施設の建設

公共性のある施設と民間店舗の合築により、公的資金を伴わない子育て支援施設を建設する。

### ■1-06-5 | 子育てワンストップ窓口（ネウボラ）推進事業

妊娠・出産から子育てまでを切れ目なくサポートするフィンランドの育児支援サービスを取り入れ、1つの窓口で総合的な支援を受けられるサービスを行う。また、コーディネーターが必要な情報を案内し、専門機関へつなぐ体制を整える。

※「ネウボラ」は、フィンランド語で「アドバイスの場」を意味する支援制度。

### ■1-06-6 | 家族を育てるプロジェクト

夫婦間のトラブルを解決するための効果的な方法を解説する講座や、祖父母を対象とした、孫世代との遊び方、現代の子育ての知識、父母との接し方などの講座を開催し、夫婦間、世代間の円滑なコミュニケーションを育む。

【具体的施策】

## 07. 多子世帯・子育て世帯への経済的支援

出産・子育てには様々な負担が伴いますが、その中でも若い子育て世帯にとって負担が大きいのは経済的な負担です。教育・保育に係る費用や住宅取得などについての不安から出産を控えてしまい、理想の子ども数と現実の子ども数には開きがあるのが現実です。

小美玉市では、出産・子育てに係る様々な経済的負担を軽減し、それぞれの家族が望む子ども数が実現できるよう多様な支援を図ります。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
家賃・住宅取得補助申請者数	—	10 件／年
3人以上のお子さんのいる世帯数	19.3%	23.0%
理想の子ども数と現実の子ども数のかい離を縮める（現実の子どもの数）	1.9 人	2.3 人

【具体的事業】

### ■ 1-07-1 | 家賃・住宅取得補助事業

市内居住ならびに転入した多子世帯への経済的負担軽減として、家賃及び住宅取得にかかる費用の助成を行う。子どもが3人以上いる世帯で、居住スペースを広げるために引越す場合や、新たに住宅を取得する場合について補助する。（例：家賃の場合は1か月2万円上限で2年間支給し、住宅を取得する場合は新築50万円、改修30万円を支給）

### ■ 1-07-2 | 出産祝い事業

市内在住の方が出産する場合、市民のニーズを反映したお祝い制度を創設する。（例：おむつ支給や購入補助、3人目以降の誕生祝い金等）

### ■ 1-07-3 | 不妊治療費助成制度

対象となる不妊治療費の一部を助成し、不妊治療にかかる経済的負担を軽減する。

### ■ 1-07-4 | 医療費助成事業

市内在住の高校生までの保険診療分の自己負担額を助成する。



地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる

政策  
分野 **2**

■政策分野2

地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる



小美玉市の魅力を考えたとき、茨城空港、霞ヶ浦、星空、ヨーグルト、酪農、イチゴ、小美玉市まるごと文化ホール…など、いいもの、いいところはたくさんあるけれど、「これぞ小美玉市」というイメージが無いことに気がつきます。

小美玉市の総合戦略では、小美玉市がもっている「魅力」と「イメージ」を一致させ、「シビックプライド」を醸成することにより、新たな価値観を生み出し、「小美玉らしさ」を実現することを目指します。

※「シビックプライド」は、地域への「誇り」や「愛着」を持つとともに、自らが地域の形成に関わっているという認識・自負を持つこと。

【基本的方向と具体的施策】

基本目標を実現するために講ずべき施策に関する基本的方向	具体的施策
<p>1. 地域資源を生かす ～見つけて磨いて光をあてる～</p> <p>小美玉市の魅力を発信していくためのブランドづくりを戦略的に進めます。</p> <p>また、陸・水辺・空それぞれのエリアにおける魅力づくりを推進するとともに、これまで培ってきた地域文化のさらなる向上を図り、流入人口も視野に入れた交流人口の拡大を目指します。</p>	<p>01. 文化のまちのストーリー 02. 空のエリアの活性化 03. 陸のエリアの活性化 04. 水辺のエリアの活性化 05. おみたまブランドの確立 06. 交流の活性化</p>
<p>2. 公民連携に光をあてる ～みんなで磨く～</p> <p>新しい公共の考え方にに基づき、公民連携をさらに進めるとともに、民間の力を効果的に活用できる制度づくりを進め、魅力あるまちを目指します。</p>	<p>07. 自由度の高い公民連携の促進</p>
<p>3. 新たな地域デザインを見つける ～みんなで光る～</p> <p>それぞれの地域が培ってきた特性や利点を生かしつつ、移住者が安心して加入できるよう、自立的で開かれた行政区の仕組みづくりを進めるなど、新たな地域デザインの構築を目指します。</p>	<p>08. 行政区の新たな仕組みづくり・見える化</p>

【基本目標】

基本目標	現況値 (平成 26 年度)	目標値 (平成 31 年度)
<p>交流人口 (空港を利用する交流人口)</p>	<p>137 万人</p>	<p>200 万人</p>
<p>市イベント関連交流人口 (ふるさとふれあい祭り、産業祭、 そらら、文化センター来場者数)</p>	<p>81 万人</p>	<p>100 万人</p>

【具体的施策】

01. 文化のまちのストーリー

小美玉市には、たくさんの住民が文化活動に参加・参画し、つくりあげる土壌があり、文化活動を通じた人材育成と地域文化の質の高さは誰もが知るところです。小川文化センターアピオス、四季文化館みの～れ、生涯学習センターコスモスが地域の核となり、文化創造・育成事業及び他の分野とのコラボレーションを通してシビックプライドを高めます。また、読みたいときに本がそばにあるまちを目指します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
図書館利用者数	46,558 人	56,000 人
シビックプライド醸成事業参加者数	—	10,000 人
文化ホール年間利用者数	161,234 人	200,000 人

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

具体的事業の番号表記

■ 2（政策分野番号）-01（施策番号）-1（事業番号） | （具体的事業名）

【具体的事業】

■ 2-01-1 | 文化芸術によるシビックプライド醸成

小川文化センターアピオス、四季文化館みの～れ、生涯学習センターコスモスが培っている「創造・発信する力、共感を呼び起こす力、マーケティング手法」を生かし、まちの愛着やこのまちをより良い場所にするために関わっているという誇りを醸成する。

■ 2-01-2 | 小美玉市まるごと文化ホール計画

小川文化センターアピオス、四季文化館みの～れ、生涯学習センターコスモスが、文化の創造・育成を図る地域住民の拠点として機能し、それぞれの特性を生かしつつ連携し文化活動の質の向上、次世代への継承、ネットワークの形成に努める。

### ■2-01-3 | 本が身近にあるまち事業

---

市内各所（畑、牧場、公園、霞ヶ浦、空港等）において、その場所、地域、雰囲気、季節等にあったおはなし会を定期的を開催する。また、同時に好きな絵本等を親子で楽しむ機会をつくる（おはなしサークルにおいて検討）。その他、市内図書館へ「赤ちゃんルーム」（授乳室・おむつ交換場所等）機能を整備する。

【具体的施策】

## 02. 空のエリアの活性化

空のエリアの魅力づくりとして、北関東唯一の空港である茨城空港を生かしたまちづくりを目指します。

そのため、空港利用者を対象とした利便性の向上、茨城空港・百里基地と連携したイベントの開催などを推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
空のイメージづくり事業によるフェスタ等イベント参加者数	47,200 人	70,000 人
外国人留学生による海外向け情報発信回数	—	32 件
外国人観光客の周遊先事業者数	—	30 事業者
小美玉市を起点とした県内周遊ツアー数	—	10 本

【具体的事業】

### ■2-02-1 | 空のイメージづくり事業

スカイスリーフェスタや市PR事業等を継続的に開催するほか、ドローンを活用した競技会やコスモス畑の空撮等を実施する。また、茨城空港や百里基地と連携し、小美玉市の魅力を発信する。さらに、にぎわい交流拠点として、空港周辺にホテルやショッピングセンター、免税店等の誘致に取り組む。

※「スカイスリーフェスタ」は、茨城空港ターミナルビルにおいて、地場製品の販売、また隠れた観光資源などを紹介するイベント。

※「ドローン」は、遠隔操縦する小型無人航空機（遠隔操縦するマルチコプターを意味する場合が多い）。

### ■2-02-2 | ようこそ小美玉事業

訪日旅行者がよく使用するスマートフォン用旅行情報検索アプリに、小美玉市の観光地及び特産物の情報を投稿する。留学生などのボランティアに依頼し、母国語での情報提供を行う。

【具体的施策】

### 03. 陸のエリアの活性化

---

陸のエリアの魅力づくりとして、市街地の機能向上を図るとともに、交通利便性の向上を図り、利便性の高いまちを目指します。

そのため、J R常磐線羽鳥駅および駅周辺の整備など交通結節点である駅の利便性向上に努めます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
J R 羽鳥駅の乗降客数（1 日平均）	4,598 人	6,000 人

【具体的事業】

#### ■ 2-03-1 | J R 羽鳥駅及び駅前広場整備事業

---

平成 31 年度末の供用開始を目指し、J R 羽鳥駅の橋上化、自由通路と駅前広場の一体的整備を進めるとともに、駅前広場に市の顔となる交流・サービス拠点の整備を推進する。（例：子育てサービスセンター、市民交流スペース等）

【具体的施策】

## 04. 水辺のエリアの活性化

---

水辺のエリアの魅力づくりとして、霞ヶ浦や河川などの水辺の自然資源を活用し、観光・レクリエーションなどを通して交流人口の拡大を目指します。

そのため、水辺を活用したイベントの開催や交流施設の整備、サイクリングロードの整備等、市内外からの集客を図る取組を推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
水辺のイベント参加企業・団体数	—	5 団体

【具体的事業】

### ■2-04-1 | サイクリングロードパーク事業

---

霞ヶ浦周辺のサイクリングロードのサイクリングステーションを大井戸湖岸公園に整備する。茨城県が行う水郷筑波サイクリング環境整備事業と連携を図り、整備を進める。

### ■2-04-2 | 水辺のイベント事業

---

水辺環境の保全に関連する民間企業及び団体とコラボレーションしたイベントを開催し、交流人口の拡大を目指す。

### ■2-04-3 | 霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備事業

---

貴重な資源である霞ヶ浦の環境保全を図りながら、地域の交流空間の形成を図るとともに、霞ヶ浦周辺地域の景観の保全・育成に努める。

【具体的施策】

## 05. おみたまブランドの確立

小美玉市の魅力を国内外に発信していくため、市の農業、農産物のブランド化などをはじめとして小美玉市のイメージづくり、地域全体のブランド化を進めます。

そのため、地域のブランドとなる産業のイベントを開催し、市民・民間事業者からの情報発信の支援に努めます。また、農家と行政や地元飲食店が協働し、農畜産物の魅力を発信するとともに、6次産業化の支援を図ります。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成26年度）	目標値（平成31年度）
情報ナビサイト総アクセス数	—	100,000件
ヨーグルトサミット開催	—	開催
小美玉ブランド認定数	—	3件

【具体的事業】

### ■2-05-1 | 魅力創造発信事業

市内の飲食店等に対して、情報ナビサイト等への掲載にかかるノウハウを学ぶ機会をつくる。また、小美玉市の魅力やイベント情報などを発信する、広報宣伝の担い手（レポーター）養成講座を実施する。

### ■2-05-2 | ヨーグルトサミット・スイーツフェスタ開催

市民の参加を募り実行委員会を組織し、全国ヨーグルトサミット、スイーツフェスタの開催を目指す。

### ■2-05-3 | フォレストファーム事業

収穫体験、農作業体験が可能な作物と受け入れ農家を確保し、四季を通して魅力ある体験農業ができるシステムを構築する。現在、ブルーベリー等限定的に実施中の事業の拡大実施を図る。



#### ■2-05-4 | 農家レストラン事業

---

地域の農畜産物を扱う農家レストランの開業を支援する。また、地元食材を使った既存飲食店に対して、地元食材の魅力発信を促進する。

#### ■2-05-5 | 6次産業化支援事業

---

農家が6次産業化するために必要なノウハウや、インターネットの活用による流通の仕組みを学ぶ養成講座等を実施する。また、6次産業化に気軽に取り組めるよう、ニーズに対応した助成事業を併せて実施する。農家による農産物の加工品のコンテスト等を実施することで、ブランドの認定を行い、販売等の支援を行う。

【具体的施策】

## 06. 交流の活性化

人が集い賑わう交流の機会づくりとして、市の魅力を全国、世界に向けてアピールし、小美玉市を好きになってもらう取組の総合的な展開を目指します。

そのため、地域の資源を生かした体験型の交流の場、外国人観光客にも対応したサービスの充実などを展開します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
魅力体験ツアー参加者数	—	延べ 60 名／年
市長と市民のランチミーティング実施回数	—	6 回／年

【具体的事業】

### ■2-06-1 | 小美玉ファンクラブ拡大事業

小美玉のファンをつくるため、農業体験等を組み入れたツアーを企画し、小美玉市の魅力を体験してもらう。（例：外国人や若い世代に向けた民泊体験や各種農業体験等）

### ■2-06-2 | 身近なみどり体験事業

市内で行われている森林整備の際に出た間伐材を利用した日曜大工講座を開催する。

### ■2-06-3 | 市長と市民のランチミーティング事業

「対話の日」を発展させ、若年層を中心とした市民と市長による「ランチミーティング」を実施する。地元食材を用いた昼食を通じて交流を深める。

【具体的施策】

## 07. 自由度の高い公民連携の促進

小美玉市では、様々な分野で市民協働のまちづくりを進めてきましたが、今後はより戦略的に協働の事業を展開すること、民間活力を生かすことが重要となっています。

そのため、民間活用の推進を図るための専門的なセクションの設置を検討するとともに、公共事業における民間事業者とのコラボレーション（協働）の仕組みづくりを推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
民間活用推進室設置	—	設置
民間事業者コラボレーション事業数	—	2 件

【具体的事業】

### ■ 2-07-1 | プロジェクトチームの組織化

（仮称）民間活用推進プロジェクトチームを設置し、市役所の業務を横断的に把握し、民間の力を活用した方が良い事業やサービスを分析し、マーケティングした上で、事業を選定し、民間事業者の発案の受付や評価等を行う体制をつくる。

### ■ 2-07-2 | 民間事業者コラボレーション事業

これまで行政が行っていた様々な事業（公共施設の運営、事業企画等）について、民間団体が、その資金・経営能力・技術能力等を活用し、建設・管理運営等をする取組を積極的に実施し、質の高いサービスを提供する。そのスタイルは、協定等の締結・業務委託・提携・協働など、柔軟性を持ったものとする。（例：市内のスポーツ施設を一括して管理運営し、利用者の増加と事業の充実を狙う等）また、民間からの公募型事業等も検討する。

※「コラボレーション」は、異なる分野の人や団体が協力して製作する共同制作、共同事業。

【具体的施策】

## 08. 行政区の新たな仕組みづくり・見える化

身近な生活に密接に関わる行政区の活動の活性化は、魅力的なまちの一つの要素です。古くから培ってきた市内のそれぞれの行政区の在り方を尊重しながら、行政区によるまちづくり活動をさらに活性化し、自立性が高く開かれた行政区に向けた仕組みづくりを推進します。

そのため、コミュニティ活動の拠点づくりや、地域で取り組むまちづくりの支援に努めます。また、移住者向けのコミュニティ情報の発信を図ります。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
行政区の情報公開のためのサイト立ち上げ数	—	10 行政区
目的別まちづくり組織数	53 団体	70 団体

【具体的事業】

### ■2-08-1 | 移住者向けコミュニティ情報発信事業

移住者等を積極的に受け入れようとする行政区の加入条件や地域の魅力、コミュニティの行事等を公開するため、区長会・まちづくり組織等によるサイトの立ち上げを促進する。

### ■2-08-2 | まちづくり組織支援事業の拡充

行政区活動の強化に取り組む行政区やコミュニティ組織に対して、スタッフを配属し、会計や行事のマネジメント、防犯、自主防災、環境の美化、交通安全、空き家対策等、行政区の課題に総括的に対応できる地域協議会の導入、地域担当職員の配置等を検討する。また、行政区提案型事業の構築を検討する。

### ■2-08-3 | コミュニティ拠点づくり事業

---

公民館やコミュニティセンターを地区の集会施設として利用しやすくする仕組みを構築する。また、コミュニティ組織の活動拠点として、各組織の活動方法に合わせて既存の公共施設を柔軟に活用できる環境を整える。

### ■2-08-4 | まちづくり基金の設立

---

まちづくり組織の活動を将来的に安定化させるため、基金を設立するなど財源を確保しまちづくりファンドの創設を目指す。



小美玉市の産業は、酪農、農業のほか、製造業が多いことが特徴です。災害が少なく、高速道路の利便性もよいことから、地方移転を考える企業にとっては魅力的な立地といえます。

また、大きな企業の創始者を多数輩出していることから、小美玉市に関わると“出世する”“運が開く”など金脈のまちとしてのイメージもあります。

一方で、就職を機に市外へ転出する若者が多いことも事実です。

また、アンケート調査では、仕事と育児を両立できる環境を求める声も多くありました。

このことから、働く場所を増やす支援とともに、女性が安心して働ける職場環境支援などに取り組み、女性が輝くまちを目指します。

【基本的方向と具体的施策】

基本目標を実現するために講ずべき施策に関する基本的方向	具体的施策
<p>1. あらたな「働く」をカタチにする ～原石を見つけ、磨き上げる～</p> <p>小美玉市の若者が小美玉市で新しい仕事を始められる、やりたい仕事を見つけられるよう、起業・創業支援や新たな地域産業の創出、企業誘致など多様な取組を行います。</p>	<p>01. わくworkストーリー 02. 小美玉発のオンリーワン 03. 企業さん、いらっしゃ～い</p>
<p>2. あなたの「働く」を応援する ～ダイヤモンドのように輝いて～</p> <p>小美玉市民が希望する仕事を市内で見つけられるよう、地元企業情報の提供や就業支援を推進するとともに、仕事と生活の調和を推奨し、女性が働きやすい環境整備に努めます。</p>	<p>04. 小美玉企業に見える化 05. 働き手キラキラプラン 06. ハッピーウーマン増し増しプラン</p>

【基本目標】

基本目標	現況値	目標値 (平成 31 年度)
市民総生産	2,175 億円 (平成 24 年度)	現状維持
就業者数 (20～40 歳代)	15,148 人 (平成 22 年)	現状維持
農産物販売額	227 億円 (平成 22 年)	現状維持
市内に住んで市内で就職したい割合 (アンケート調査)	12.8% (平成 26 年度)	14.0%

【具体的施策】

01. わくworkストーリー

小美玉市で起業・創業したい若者が、チャレンジしやすい環境を目指します。そのため、新規就農や新規創業を支援するとともに、起業後のフォローアップ等を実施します。また、ビジネスコンテストや屋台村など小美玉市独自の支援策を検討します。

【重要業績評価指標】

KPI（重要業績評価指標）	基準値（平成26年度）	目標値（平成31年度）
新規就農・創業者数	13人	109人（延べ数）
駅前イベントの実施	—	3回 （平成29年度から年1回実施）
ビジネスコンテストの実施	—	3回 （平成29年度から年1回実施）

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

具体的事業の番号表記について

■ 3（政策分野番号）-01（施策番号）-1（事業番号） | （具体的事業名）

【具体的事業】

■ 3-01-1 | 就農・創業スタートアップ事業

農業関係者や市商工会、市財界人、実際に創業した方と連携し、セミナー等を開催することで、就農や創業をする際の不安を解消し、後押しをする。企業ガイドブックの就農・創業者版を配布する。また、空き家・未利用地・公共施設をオフィスとして低料金を貸与、融資優遇、アドバイザー派遣などの支援措置を講じる。



### ■3-01-2 | ビジネスコンテスト事業/地域拠点の魅力づくり事業

飲食店等を起業しようとする方へ向けて、羽鳥駅前に屋台広場の開催を検討する。また、創業をしたい方がビジネスプランを競うビジネスコンテストを実施する。優秀なプランには、オフィス貸与や市の公告に優先的に掲示するなどの支援を提供する。

### ■3-01-3 | 起業フォローアップ事業

---

起業後、事業の安定的な継続を目指し、適切な資金管理、経営が行われるよう、相談、助言を行う。(例：創業3年以内までの賃料補助、中小企業診断士等の専門コンサルタントへの相談料の補助等)

【具体的施策】

## 02. 小美玉発のオンリーワン

---

小美玉市の特徴を生かした、小美玉市にしかない、小美玉市発の地域ブランド、地域産業等、小美玉市発オンリーワンを世界に発信していきます。

そのため、地域資源の発掘、特産品のブランド化や新産業の開発等に取り組みます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
ふるさと納税額	2,200 万円	1 億 5,000 万円
ふるさと寄附お礼品数	28 品	35 品

【具体的事業】

### ■3-02-1 | チャレンジ拠点整備事業

---

空き家を利用し、体験や生産販売ができる拠点を整備し、地域資源を発掘する。

### ■3-02-2 | 地域ブランド力強化事業

---

特産物を使用した商品をブランド化する。また、ふるさと寄附金の謝礼品として地元特産品を企業から募集し、ふるさと寄附金制度とともに市のホームページ等でPRする。

### ■3-02-3 | ゴールドラッシュ事業（ニッチ産業発掘）

---

小規模なマーケットであっても、現代に求められている潜在的なニーズに対応した新産業を発掘する。勉強会を開催するなど、多様な分野との連携を図り、雇用につなげる。（例：漢方薬原料となる甘草等の栽培）

【具体的施策】

### 03. 企業さん、いらっしゃ〜い

---

小美玉市の地域産業の振興の観点から、また市民の雇用の場の確保を図る観点から企業誘致を積極的に促進します。

そのため、茨城県との協力体制のもと、空港テクノパークなどへの企業誘致や、インターチェンジ周辺地区を生かした取組等を推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
企業誘致数	0 件	3 件

【具体的事業】

#### ■3-03-1 | 企業誘致事業

---

企業誘致促進を目的とした組織を設置し、税制面、融資面の優遇制度の拡充をはじめ、助成金制度の創設や、地域の特性を生かした企業誘致に取り組む。茨城空港テクノパークにおいては、県との連携を図りながら、企業誘致を促進する。また、市所有の未利用地を活用した企業誘致の検討を進める。

【具体的施策】

## 04. 小美玉企業の見える化

小美玉市には、どのような企業、働く場所があるかを、見える化することで、市内で働きたい人材の確保・拡大を目指します。

そのため、市内企業情報の提供、企業と連携した説明会や相談窓口の開設など、人と企業をつなぐ取組を推進します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
市ホームページ掲載企業数	—	10 企業
企業説明会参加者数	116 人	200 人

【具体的事業】

### ■3-04-1 | 市内企業魅力発信事業

既存の企業連絡会のパンフレットを基に、市内企業の情報（就業経験談や託児所の設置状況等、就職活動に生かせる様々な情報）をホームページや SNS で発信する。

### ■3-04-2 | 市内就職ウェルカム事業

就職説明会を継続して開催する。また、地元を離れた人材や他地域の人材への新たなアプローチに取り組む。

【具体的施策】

## 05. 働き手キラキラプラン

---

小美玉市で働きたいと思うかどうかは、どれだけ深く市内の企業を知ることができるかにかかっています。小美玉市で働きたい人に、小美玉市で働いてもらうための様々な支援に取り組み、市内に希望する仕事があるまちを目指します。

そのため、みらいの人材を育成するためのインターンシップや研修先の充実を図るとともに市内企業の情報はもとより従業者からの情報などを共有し、支援につなげます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
意見交換会実施回数	—	3 回／年
高齢者就労率	23.3%	30.0%

【具体的事業】

### ■ 3-05-1 | みらい人材育成事業

---

長期で受け入れてもらえるインターンシップ先企業や農家等を開拓し、就職を考える際の判断材料を提供する。

### ■ 3-05-2 | 働き手・支え手しゃべり場事業

---

農業・商業・金融等の市内の産業に従事している人の意見交換会を開催し、地元企業を継続していくための情報交換の場を設け、地域に根付いた産業の活性化を図る。

### ■ 3-05-3 | がんばるシニア層応援事業

---

専門性を持った生産性の良い農業法人の誘致により、高齢者の雇用を確保・促進する。

【具体的施策】

## 06. ハッピーウーマン増し増しプラン

---

女性が子育てと仕事を両立しながら、いきいきと輝く社会が求められています。女性が輝く社会を目指して、小美玉市に住む働く男女の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を目指します。

そのため、女性に優しい企業になるよう職場の環境整備を市内企業に働きかけるとともに、支援に努めます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
小美玉市で子育てをしたいと思う割合（アンケート結果）	62.6%	70.0%
子育て応援企業登録数	63 社	70 社

【具体的事業】

### ■3-06-1 | 在宅ワーク事業

---

市内企業と連携し、女性が働きやすい在宅ワークを紹介する。

### ■3-06-2 | 女性が輝く元気企業応援事業

---

女性に優しい企業になるような職場整備に対し助成を行う。（例：職場内に託児所整備、高校生までの子を養育する女性を雇用した場合の奨励金等）

■政策分野4

スーッと、ず~っと住めるまちになる



結婚・子育ての支援、地域の魅力づくり、雇用への取組と、小美玉市での定住を促進することとは相互に関連性の高いものです。

特に若い世代の人たちの定住を促進するため、選ばれる小美玉市を発信していくことが重要だと考えます。

より多くの人に小美玉市の良さを感じてもらえるプロモーションを積極的に行います。

また、まちへの誇りと愛着を育み、まちをより良くするために自分自身が関わっているという自尊心「シビックプライド」をもって行動できる人材を育成することにより、定住意識の定着を図っていきます。

※移住のハードルがスーッと下がり、ず~っと住み続けたいまちをイメージしています。

【基本的方向と具体的施策】

基本目標を実現するために講ずべき施策に関する基本的方向	具体的施策
<p>1. 小美玉が恋しくなっちゃう ～離れて気づく、ダイヤのように硬い想い～</p> <p>小美玉市で生まれ育った若者が、人生の岐路に立ったとき、地元での暮らし、地元での就職を選択するよう、若者をターゲットにした取組により、帰ってきたくなるまちを目指します。</p>	01. 「おかえり」ストーリー
<p>2. 小美玉に住みたくなっちゃう ～あなたにダイヤのような輝きを～</p> <p>市外からの住み替えを考えている人に小美玉市での暮らしを体験する機会や、移住後のケアなど積極的に迎え入れる体制の整備を進め、誰もが小美玉市に住みたくなるようなまちを目指します。</p>	02. 「いらっしやい」ストーリー 03. 「心地よさ」ストーリー
<p>3. 小美玉から離れられなくなっちゃう ～育つ絆はダイヤのように永遠に～</p> <p>小美玉市に住んでいる人、住み始めた人が小美玉市にふるさととして愛着を持ち、誇りを持てるよう支援に努め、子どもから大人までが小美玉市に住んで良かったと再認識し、小美玉市から離れたくないと思えるまちを目指します。</p>	04. 「住みごこち」ストーリー 05. 「きづくふるさと」ストーリー
<p>4. 小美玉がうらやましくなっちゃう ～ダイヤのように魅力を放つ～</p> <p>小美玉市をトータルにプロデュースし、市民、行政が一丸となって世界に向けてPRを展開することで、誰もがうらやましくなる小美玉市を目指します。</p>	06. 「いいね!小美玉。」ストーリー

【基本的方向と具体的施策】

基本目標	現況値	目標値 (平成 31 年度)
社会移動率	-0.26% (平成 27 年)	-0.18%
住みよさランキング	327 位 (791 市区中) (平成 27 年)	300 位

※住みよさランキング／東洋経済「都市データパック 2015 年版」



## 基本的方向 1

小美玉が恋しくなっちゃう  
～離れて気づく、ダイヤのように硬い想い～

### 【具体的施策】

## 01. 「おかえり」ストーリー

小美玉市生まれの若者が進学などで地元を離れても、帰ってこられるような取組を進めることが重要です。

多くの若者が小美玉市に帰ってきたくなるきっかけづくりとして、地元暮らしの素晴らしさをアピールするとともに、将来地元で就職することを前提とした奨学金制度などの導入を検討します。

### 【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
小美玉ガイダンス実施回数	—	3 回／年
奨学金受給者数	—	2 人以上／年

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標  
※「ガイダンス」は初歩的な説明と同時に、適正な助言を行うこと。

具体的事業の番号表記について

■ 4（政策分野番号）-01（施策番号）-1（事業番号） | （具体的事業名）

### 【具体的事業】

#### ■ 4-01-1 | 小美玉ガイダンス事業

大学生を対象に「小美玉ガイダンス」を開催し、「地元」での暮らしを後押しする。

#### ■ 4-01-2 | オミターン制度

将来小美玉市に帰住（Uターン）する人材を育成することを目的として、奨学金の貸与を行う。

【具体的施策】

## 02. 「いらっしやい」ストーリー

小美玉市に住んでみたい、住んでみようかなと思っている人に小美玉市を知りたくなる機会、体験する機会を設け、安心して移住できるように多様な支援を図ります。

具体的には、小美玉市での居住体験ができる場所の提供や、移住コンシェルジュ等による相談体制の充実を図ります。

※「コンシェルジュ」は、様々な相談に対して、豊富な知識にもとづいて適切な提案をするようなサービスを担う人、スタッフ等。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
移住アドバイザー登録者数	—	2 人／各地区
移住・住み替えコンシェルジュ数	—	2 人／各地区

【具体的事業】

### ■ 4-02-1 | 小美玉トライアル事業

小美玉での生活を疑似体験し、ここで生活するという感覚を五感で感じてもらい、定住につなげていく。また、住むにあたって、家電製品（洗濯機やテレビ等）が備え付けの住宅を用意し、市外に通勤する人には交通費を助成する等して、スムーズに移住体験できるようにする。

### ■ 4-02-2 | 移住相談会事業

都内などで移住相談会を実施し、移住者がどんな生活を希望しているかといったニーズを把握し、就職や住居なども含めて提案する。また、移住アドバイザーとして、実際に移住してきた人のアドバイスを聞く場も提供する。

#### ■4-02-3 | 移住・住み替えコンシェルジュ事業

---

小美玉市在住の市民や移住経験のある人から移住コンシェルジュを募り、移住をしてきた人のサポートを行う。また、市内で転居を希望する人に住宅情報、雇用支援情報、子育て支援情報等を提供する。

#### ■4-02-4 | 移住促進住宅取得助成事業

---

市外から小美玉市への移住を目的として住宅を取得される方へ、新築住宅及び中古住宅の取得費用の一部を助成する。(例：新築取得は50万円、中古住宅取得は30万円を助成。中古住宅の改修工事を市内業者に発注する場合、10万円を加算して助成)

【具体的施策】

### 03. 「心地よさ」ストーリー

小美玉市に住みたいと思っている若者や女性を後押しするためには、チャレンジしやすい環境と、同世代がいる安心感などの定住支援が重要です。

具体的には、市有地を活用した若者向けの住宅の整備や安全な環境の整備など、若い女性の定住を促進するための総合的なサポートに努めるとともに、若者の生活基盤づくりを通じた定住促進に取り組みます。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
空き家を活用できる基盤の整備 （特定空き家対策件数）	—	50 件（延べ数）

【具体的事業】

#### ■4-03-1 | 女性定住支援事業

市内の不動産や人材派遣会社などと連携し、女性用にリニューアルした住居の用意や仕事の紹介、悩みの相談等をキャリアアドバイザーがサポートし、若い女性の定住を支援する。

※「キャリアアドバイザー」は、就職を希望する人に対して様々な相談支援を専門的に行う人。

#### ■4-03-2 | 空き家<sup>リブート</sup>（空き家活用）事業

入居団体等による自主管理組合を整備した上で、市民活動団体の活動拠点や起業したい方へのワーキングスペースとしての活用等を推進する。また、不動産会社と連携し、活用できる店舗や空き家情報を収集し、総合検索サイト等を設置する。金融機関と連携し、空き店舗、空き家を改装する資金の調達のために、低金利で銀行融資を受けられる仕組みをつくる。市内の特定空き家に対しては、撤去・修繕、改修補助、取得等の措置を行い、空き家を活用できる基盤を整備する。

※「REBOOT」は、再起動する、最初から仕切りなおす、という意味から、今まで手をつけられていない空き家の利活用を意味している。

#### ■4-03-3 | 未利用市有地の活用事業

未利用市有地を定住施策へ活用する。未利用市有地に新築した後、20 年程度定住した場合、市有地を譲渡するなどの特典を設ける。

#### ■4-03-4 | 防犯灯 L E D 化事業

市内の防犯灯を L E D 化し、長寿命化・運用コストの削減を図り、夜でも安全・安心なまちづくりを目指す。

【具体的施策】

04. 「住みごこち」ストーリー

小美玉市に今住んでいる人に住み続けてもらうためには、住んでいる人が快適に住める環境をつくるのが大切です。

そのため、住宅取得に際しての優遇や三世代近住世帯への支援などに取り組み、住みごこちの向上を目指します。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
地域家族支援事業を利用した住宅着工率	—	住宅着工件数の 10%
三世代近住のための住宅取得・リフォーム補助申請数	—	30 件（延べ数）

【具体的事業】

■ 4-04-1 | 地域家族支援事業（住宅ローン支援制度）

銀行と協定を結び、小美玉市在住の人が市内に家を建てた際に住宅ローンの金利を世代別に優遇し、市内への定住を促す。

■ 4-04-2 | 三世代近住促進事業

既存住宅のリフォーム、新規取得に対して費用の一部を助成し、子育て世代の方が、小美玉市内に住んでいる親世代と同居又は近居する三世代近住を推進する。（例：新築取得は 30 万円、リフォームは 20 万円、また同敷地内の場合は 10 万円を助成）

【具体的施策】

## 05. 「きづくふるさと」ストーリー

小美玉市の素晴らしさを子どもから大人までが、いかに共感し共有できるかがシビックプライドの醸成にとって重要です。

そのため、学校、地域の連携のもと、人格形成やふるさと意識の醸成に適した子ども時代での取組を積極的に推進するとともに、地域を大切にしながら古くから培われてきたものを継承し、地域ぐるみの活動を通して生まれ育った、あるいは生活を営んでいる地域への愛着形成を図ります。

「シビックプライド」は、地域への「誇り」や「愛着」を持つとともに、自らが地域の形成に関わっているという認識・自負を持つこと。

【重要業績評価指標】

K P I（重要業績評価指標）	基準値（平成 26 年度）	目標値（平成 31 年度）
小美玉市に愛着をもっている割合（アンケート結果）	48.1%	50.0%
コミュニティスクール	1 校	2 校

【具体的事業】

### ■4-05-1 | 学校におけるシビックプライドの醸成

学校、地域が相互に協力し、子どもたちが故郷に愛着と誇りを持てる教育を推進する。現在実施しているコミュニティスクールの導入促進や、「夢先生」、農業体験などの体験学習を継続及び拡充する。

※「夢先生」は、アスリートが先生となって、学校でスポーツや対話を通してコミュニケーションを図る授業を行うもので、日本体育協会等が主催している事業。

### ■4-05-2 | 地域におけるシビックプライドの醸成

子どもから大人までが、市民として自らの故郷にプライドを持てるような教育を、異分野、異業種の協働、そして地域ぐるみの実践（地域のまつりやフォトコンテスト・動画コンテスト等）を通して行い「シビックプライド」を育む。また、小美玉市の魅力を学び、体験し、ブログや SNS などのツールを使って魅力を発信するボランティアを育成する。

【具体的施策】

06. 「いいね！小美玉。」ストーリー

小美玉市の文化、自然、地域コミュニティ、産業、教育や、恵まれた地勢からくる災害への強さなど、すべての要素をトータルにプロデュースし、市内外の人々が小美玉市の良さを実感できるよう、総合的な取組を推進します。

そのため、トータルデザインによるシティセールス、メディア戦略を展開するとともに、総合戦略のPRなどを進めます。

また、小美玉市のナンバーワン、日本一のヒト・モノ・コトを探し出し、PR戦略に生かします。

【重要業績評価指標】

KPI（重要業績評価指標）	基準値（平成26年度）	目標値（平成31年度）
トータルデザインの確立	—	策定
メディアでの発信回数	—	3回／年
日本一・日本唯一になる項目	—	3項目

【具体的事業】

■4-06-1 トータルデザインによるシティセールスの推進

小美玉市から発信する情報において、共通して使用できるデザインコンセプトを打ち出し、市内及び全国に向けて効果的に小美玉市の魅力を印象付ける。また、官民学及び地域市民と連携してシティセールスを推進し、魅力の発信とともに、小美玉市の活性化を図る。

■4-06-2 総合戦略PR事業

市民向けプレゼンテーション、AR技術を使った広報、プロジェクトマップなどを通して、市が行う事業を積極的にPRする。

※「AR（Augmented Reality）技術」は、現実環境に仮想の情報を付加して情報提示を行う技術。

#### ■4-06-3 | メディア戦略事業

---

マスコミに対してのプレスリリースやテレビ・ラジオなどメディア媒体を戦略的に活用し小美玉市の魅力を発信する。

#### ■4-06-4 | 小美玉オンリーONLY ワンONEプロジェクト

---

産業・行政・市民が一体となって、小美玉市が日本一となる指標の達成及び継続を目指す。



## 4. 総合戦略の実現に向けた方策

---

### ◆ オンリーワンの総合戦略を展開するために ◆

#### シビックプライドを育てるしかけづくり

市民がまちに愛着を感じ、市民が誇れるまちとなるよう、学校教育、体験学習、地域ぐるみのイベント活動など、様々な場を活用し、シビックプライドを育てるしかけづくりを進めます。小美玉市の魅力を共有し、まちの未来をつくっていく当事者となって、アクションを起こしていく人材を育成します。

#### ターゲットとなる層への積極的なPR

「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、若者世代の流出が、本市の人口減少対策における課題であると捉え、同世代の定住・流入にターゲットを絞った戦略を立案しています。

人口減少に歯止めをかけるため、様々な取組を積極的に推進し、ターゲットとなる層に効果的なメディアやツールを活用した広報・PRを展開します。

### ◆ 総合戦略を着実に推進するために ◆

#### 4つの政策分野の効果的な連携

4つの政策分野は、それぞれ「結婚・子育て」、「地域の魅力づくり」、「雇用創出」、「定住促進」を目指すものとなっています。若者が小美玉市に住み、結婚や子育てを通して生活を楽しみ、地域に根付いていくことによって雇用につながり、自分たちの住むまちとして人を呼びこむ魅力を発信していく、という好循環を生み出すように、各政策分野の取組を相互に連携し、より効果的に実施していきます。

#### 総合戦略推進体制の継続

まち・ひと・しごとを全庁的に推進する「小美玉市まち・ひと・しごと創生本部」、市民活動団体、産業界、大学、金融機関などの様々な分野のご意見を反映する「小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議」を継続して開催し、「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の指標の達成状況、効果を常に検証し、社会情勢をふまえた施策となるよう検討を続けていく体制を整えます。

## PDCAサイクルによる進捗管理

「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各政策分野に掲げた基本目標、各施策に掲げたKPI（重要業績評価指標）の達成状況を、事業の進度に応じて確認し、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルによる効果検証を行います。各種情勢、費用対効果などをふまえ、必要な際には事業の見直しなどを検討します。

## 行政と民間事業者と市民との協働

「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「まち」、「ひと」、「しごと」の好循環を機能させることにより、民間企業の経済活動、市民の生活をより活性化し、豊かなものにしていくことを目指しています。民間事業者や市民が、まちを活性化する当事者として様々な取組を協働で実施する機会を拡大します。また、行政と民間が円滑に活動できるよう、相互の情報共有にもとづく連携の強化に努めます。

## 参考資料

---

- 1) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱
- 2) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者名簿
- 3) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議設置要綱
- 4) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部名簿
- 5) 小美玉市地方創生ワーキングチーム設置要綱
- 6) 小美玉市地方創生ワーキングチーム会議名簿
- 7) 小美玉市地方創生ワーキングチーム活動記録
- 8) 策定経緯
- 9) 数値目標設定
- 10) 具体的事業一覧

若手職員ワーキングチームのあゆみ



## 1) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

### 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

(設置)

第1条 本市が安定した人口構造を保持し、若い世代を中心に将来にわたって市民が安心して働き、希望に応じた結婚、出産、子育てをすることができる地域社会を構築できる施策を検討するにあたり、専門的見地から意見を聴取するため、小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議(以下「会議」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 地方人口ビジョンの策定に関する調査及び審議
- (2) 地方版総合戦略の策定に関する調査及び審議
- (3) 地方版総合戦略の成果検証に係る検討

(組織)

第3条 会議は、委員15名以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 農林・商工又は観光の関係者
- (3) 金融機関関係者
- (4) 子育ての関係者
- (5) 教育の関係者
- (6) 放送機関、新聞社その他の報道機関関係者
- (7) その他市長が必要と認める者

3 会議に座長を置く。

- (1) 座長は委員の互選により定める。
- (2) 座長は会議の会務を総理し、会議の議長となる。
- (3) 座長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ座長が指名する委員がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 会議は座長が招集する。

2 座長は必要があると認めるときは、会議に第3条第2項に規定する委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(庶務)

第6条 会議の庶務は、企画調整課において処理する。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この訓令は、平成27年7月15日から施行する。

## 2) 小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

NO	団体名等	氏名
1	大学教授（茨城大学 人文学部 准教授）	馬渡 剛（座長）
2	小美玉市企業連絡会会長 （㈱ダイショー 関東工場長）	三浦 和信
3	常陽銀行美野里支店支店長	国井 武
4	茨城労働局石岡公共職業安定所所長	木村 武浩
5	小美玉市子ども子育て会議会長	竹内 昌信
6	小美玉市商工会青年部 部長	内藤 裕一郎
7	茨城新聞石岡支局長	小林 太郎
8	新ひたち野農業協同組合 副組合長	磯辺 隆
9	美野里酪農業協同組合 組合長	朝倉 実行
10	一般住民代表（子育て代表）小川地区	橋本 理恵
11	一般住民代表（子育て代表）美野里地区	森川 道成
12	一般住民代表（子育て代表）玉里地区	戸田 見良
13	一般住民代表 明日の地域づくり委員会委員	小松崎 由美子
14	一般住民代表 小美玉市PTA連絡協議会 女性ネットワーク委員会委員長	斉藤 由佳
15	一般住民代表 リンクムービースタジオ副代表	立原 陽子

### 3) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部設置要綱

#### 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部設置要綱

##### (設置)

第1条 まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)に規定された人口ビジョン及び市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たり、全庁的な推進を図るため、(仮称)小美玉市まち・ひと・しごと創生本部(以下「創生本部」という。)を設置する。

##### (所掌事項)

第2条 創生本部の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 人口問題対策の総合企画及び調整に関すること。
- (2) (仮称)小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)の策定及び推進に関すること。
- (3) その他人口問題に関し必要な事項に関すること。

##### (組織)

第3条 創生本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって構成する。

2 本部長は、市長をもって充てる。

3 副本部長は、副市長及び教育長をもって充てる。

4 本部員は、別表のとおりとする。

5 市長は、必要があると認めるときは、前項各号に掲げる者のほか、市の職員のうちから本部員を指名することができる。

##### (本部長及び副本部長)

第4条 本部長は、本部を総括する。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は本部長が不在のときは、その職務を代理する。

##### (会議)

第5条 創生本部の会議は必要に応じて本部長が招集し、議長は本部長とする。

2 本部長は必要に応じて専門知識を有する者、その他関係する者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

##### (下部組織)

第6条 本部長は、必要に応じて創生本部の下部組織としてワーキングチーム等を設置することができる。

##### (庶務)

第7条 創生本部の庶務は、企画財政部企画調整課において処理する。

##### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、創生本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

##### 附 則

この要綱は、平成27年1月21日から施行する。

4) 小美玉市まち・ひと・しごと創生本部長名簿

	部局名	創生本部構成役職名	氏名	役職
1	市長	市長	島田 穰一	本部長
2	副市長	副市長	林 利家	副本部長
3	教育委員会	教育長	加瀬 博正	副本部長
4	市長公室	市長公室長	島田 清一郎	
5	企画財政部	企画財政部長	白井 福夫	
6	総務部	総務部長	樽見 博文	
7	市民生活部	市民生活部長(危機管理監)	廣戸 俊一	
8	保健衛生部	保健衛生部長	東ヶ崎 文則	
9	福祉部	福祉部長	成井 修也	
10	産業経済部	産業経済部長	我妻 智光	
11	都市建設部	都市建設部長	小松 修也	
12	会計管理者	会計管理者	升田 昭彦	
13	小川総合支所	小川総合支所長	亀山 一	
14	玉里総合支所	玉里総合支所長	長津 智之	
15	教育委員会	教育部長	長谷川 正典	
16	議会事務局	議会事務局長	木村 靖	
17	農業委員会事務局	農業委員会事務局長	久保田 一江	
18	監査員事務局	監査員事務局長	梅澤 恵子	
19	水道局	水道局長	島田 誠志	
20	消防本部	消防長	近藤 敏夫	
21	社会福祉協議会事務局	社会福祉協議会事務局長	堺 明	
22	市長公室	政策調整課長	倉田 増夫	



## 5) 小美玉市地方創生ワーキングチーム設置要綱

### 小美玉市地方創生ワーキングチーム設置要綱

#### (設置)

第1条 小美玉市「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定にあたり、小美玉市まち・ひと・しごと創生本部の下部組織として小美玉市地方創生策定ワーキングチーム（以下「ワーキングチーム」という。）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 ワーキングチームは、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」策定に必要な調査研究を行い、原案作成に従事する。

#### (組織)

第3条 ワーキングチームは、市長が任命する職員をもって組織する。

#### (招集)

第4条 ワーキングチームの会議は、副市長が招集する。

#### (部会)

第5条 ワーキングチームは、次に定める部会を設置する。

(1) 地方人口ビジョン部会

(2) 地方版総合戦略部会

2 部会には、部会長、副部会長及び委員を置き、副市長が指名する者をもって充てる。

3 部会長は、部会を総括する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代理する。

5 部会の会議は、部会長が招集する。

#### (庶務)

第6条 ワーキングチームの庶務は、企画調整課において処理する。

#### (補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、ワーキングチームの運営に関し必要な事項は、副市長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成27年2月24日から施行し、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」が策定されたときにその効力を失う。

## 6) 小美玉市地方創生ワーキングチーム名簿

### ■地方人口ビジョン部会

	部局名	課名	氏名	役職
1	市長公室	政策調整課	中本 正樹	
2	企画財政部	企画調整課	磯部 朋広	部会長
3			古関 智子	
4	市民生活部	市民課	戸塚 聡	副部会長
5	福祉部	子ども福祉課	重藤 智史	

### ■地方版総合戦略部会

	部局名	課名	氏名	役職
1	市長公室	政策調整課	中本 正樹	部会長
2		秘書広聴課	内田 朋子	
3			三島 由里恵	
4		市民協働課	清水 弘司	定住移住チームリーダー
5			由利 理恵子	
6	総務部	総務課	方波見 郁奈	
7		税務課	須藤 佳奈	
8	企画財政部	企画調整課	磯部 朋広	
9			島田 竜太郎	
10		財政課	海保 貴之	
11	市民生活部	環境課	井坂 麻子	結婚・出産・子育て チームリーダー
12		防災管理課	坂内 佳広	
13		生活文化課	原田 啓司	地域の魅力 チームリーダー
14	保健衛生部	医療保険課	田谷 寿之	
15		健康増進課	坪 裕美	
16	福祉部	介護福祉課	江幡 朋子	
17		子ども福祉課	重藤 智史	

	部局名	課名	氏名	役職
18	産業経済部	空港対策課	代々城 衣里	
19		商工観光課	新保 智史	
20			柳原 一将	
21		農政課	大里 拓也	
22	都市建設部	建設課	狩谷 孝則	副部会長
23		都市整備課	沼田 譲治	雇用チームリーダー
24	教育委員会	学校教育課	田村 直弥	
25		生涯学習課	遠藤 禎人	
26		スポーツ振興課	山口 明男	
27		学校給食課	丹下 一代	
28	消防本部	消防本部	田中 利夫	

## 7) 小美玉市地方創生ワーキングチーム活動記録

日時	会議およびヒアリング対象
2月27日	第1回地方人口ビジョン部会・地方版総合戦略部会 合同会議
4月24日	第2回地方人口ビジョン部会・地方版総合戦略部会 合同会議
5月1日	第1回地方人口ビジョン部会
5月13日	リーダーミーティング
5月15日	第1回地方版総合戦略部会「魅力発見ワークショップ」
6月1日	リーダーミーティング
6月4日	第2回地方版総合戦略部会「ワールドカフェ」
6月18日	第3回地方版総合戦略部会「学ぶ@シティーセールス」
6月24日	副市長&リーダーミーティング
6月30日	第2回地方人口ビジョン部会
7月1日	リーダーミーティング
7月9日	全体視察研修「学ぶ@流山市のマーケティング戦略」
7月15日	小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議
7月16日	結婚・出産・子育てグループ会議
7月16日	雇用グループ会議
7月17日	移住・定住グループ
7月22日	学ぶ@野村證券
7月24日	雇用グループ会議
7月28日	魅力グループ会議
7月28日	結婚・出産・子育てグループ会議
7月30日	学ぶ@有識者会議 森川委員・内藤委員
7月31日	魅力グループ会議
8月4日	第4回地方版総合戦略部会「中間報告」
8月5日	学ぶ@地方創生フォーラム（主催：三菱UFJリサーチ&コンサルティング）
8月11日	学ぶ@茨城大学 馬渡ゼミ生プレゼンテーション
8月12日	リーダーミーティング
8月13日	第3回地方人口ビジョン部会
8月17日	副市長&リーダーミーティング
8月19日	学ぶ@地域活性化結婚アドバイザー
8月21日	結婚・出産・子育てグループ
8月27日	学ぶ@水戸市役所みとの魅力発信課
8月27日	学ぶ@商工会青年部 意見交換会
8月28日	魅力グループ会議
9月1日	地方創生まちづくり特別委員会
9月1日	学ぶ@市民協働課
9月2日	学ぶ@NPO法人日本スポーツ振興協会
9月3日	学ぶ@認定NPO法人茨城NPOセンター commons
9月4日	学ぶ@20～30代独身女性 意見交換会
9月8日	第5回地方版総合戦略部会学ぶ@温故知新～小美玉の歴史を学ぶ～
9月17日	魅力グループ会議
9月17日	雇用グループ会議
9月18日	学ぶ@茨城大学 馬渡ゼミ 総合戦略案についてディスカッション
9月19日～23日	リーダーによるプレゼンテーション製作
9月24日	市長&リーダーミーティング
9月24日	副市長&リーダーミーティング
9月28日	リーダーミーティング
10月5日	学ぶ@電通 地方創生事業説明会
10月13日	第6回地方版総合戦略部会
10月19日	リーダーミーティング
11月3日	学ぶ@茨城大学 地方創生シンポジウム
11月4日	学ぶ@常陽銀行
12月1日	学ぶ@常陽銀行

## 8) 策定経緯

日程	会議等	内容・テーマ
平成 27 年 (2015 年)		
2 月 27 日	ワーキングチーム会議 第 1 回地方人口ビジョン部会・地方版総合戦略部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生について</li> <li>・本市における今後の進め方について</li> <li>・地方創生先行型交付金の事業選定について</li> </ul>
4 月 24 日	ワーキングチーム会議 第 2 回地方人口ビジョン部会・地方版総合戦略部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生について</li> <li>・本市における今後の進め方について</li> <li>・本市の現状について</li> </ul>
5 月 1 日	ワーキングチーム会議 第 1 回地方人口ビジョン部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉市人口ビジョン案について</li> </ul>
5 月 15 日	ワーキングチーム会議 第 1 回地方版総合戦略部会 「魅力発見ワークショップ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ形式によるグループ討議 「住んでみたい、住んでよかった、住み続けたい小美玉市」</li> </ul>
6 月 4 日	ワーキングチーム会議 第 2 回地方版総合戦略部会 「ワールドカフェ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ形式によるグループ討議</li> <li>・アンケート(案)の検討</li> </ul>
6 月 17 日	第 1 回特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉市人口ビジョン・総合戦略の概要について</li> <li>・総合戦略策定までのスケジュールについて</li> <li>・総合戦略策定における進捗状況の報告</li> <li>・委員会(議会)の今後の関わり方について</li> </ul>
6 月 18 日	ワーキングチーム会議 第 3 回地方版総合戦略部会 「学ぶ@シティセールス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例の紹介(千葉県流山市)</li> <li>・グループ討議</li> </ul>
6 月 30 日	ワーキングチーム会議 第 2 回地方人口ビジョン部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉市人口ビジョン案について</li> </ul>
7 月 1 日～ 7 月 20 日	小美玉市人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18～39 歳(在住者・転出者)、高校生世代へのアンケート調査</li> </ul>
7 月 9 日	ワーキングチーム会議 全体視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県流山市のマーケティング戦略について視察</li> </ul>
7 月 15 日	第 1 回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生にかかる概要について</li> <li>・有識者会議における役割等について</li> <li>・小美玉市人口ビジョン・総合戦略の概要について</li> <li>・総合戦略策定までのスケジュールについて</li> </ul>
8 月 4 日	ワーキングチーム会議 第 4 回地方版総合戦略部会 「中間報告」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで協議した結果について、途中経過の報告会</li> </ul>
8 月 13 日	ワーキングチーム会議 第 3 回地方人口ビジョン部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉市人口ビジョン案について</li> </ul>
8 月 25 日	第 2 回小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉市人口ビジョン案について</li> <li>・市民等アンケート結果について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>

日程	会議等	内容・テーマ
9月1日	第2回特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県流山市への地方創生ワーキングチーム視察研修について</li> <li>小美玉市人口ビジョン・総合戦略にかかるアンケート集計結果について</li> <li>小美玉市人口ビジョンの進捗状況について</li> <li>地方版総合戦略にかかる地方創生ワーキングチームの進捗状況について</li> </ul>
9月8日	ワーキングチーム会議 第5回地方版総合戦略部会 「学ぶ@温故知新」	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市の歴史・文化についての勉強会</li> <li>各グループ政策案発表</li> </ul>
9月29日	第3回小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市人口ビジョン案について</li> <li>地方版総合戦略のワーキングチーム提案について</li> </ul>
10月13日	ワーキングチーム会議 第6回地方版総合戦略部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方版総合戦略のワーキングチーム提案について</li> <li>グループ討議及び意見交換</li> </ul>
10月15日	第2回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市人口ビジョン案について</li> <li>地方版総合戦略のワーキングチーム提案について</li> </ul>
11月9日	庁内ヒアリング	農政課・市民協働課
11月10日	庁内ヒアリング	生活文化課・生涯学習課・商工観光課・都市整備課
11月18日	区長会ヒアリング	区長会代表者へのヒアリング
11月24日	第4回小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議	小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について
11月27日	第3回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議	小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について
12月4日	第3回特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>小美玉市人口ビジョン・総合戦略の概要について</li> <li>総合戦略のパブリックコメント実施について</li> </ul>
<b>平成28年(2016年)</b>		
1月4日～ 2月3日	パブリックコメント実施	小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)、小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)についてパブリックコメントを募集
2月10日	第5回小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議	パブリックコメントを受けた内容の修正について
2月10日	第4回特別委員会	パブリックコメントの意見について
2月19日	第4回小美玉市まち・ひと・しごと創生有識者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックコメントの結果について</li> <li>地方版創生総合戦略におけるKPI(重要業績評価指標)及び効果検証について</li> </ul>
3月25日	第6回小美玉市まち・ひと・しごと創生本部会議	小美玉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

9) 数値目標設定

基本目標	数値目標	基準値	出典	目標値	目標算出根拠
1 恋も子育てもしたくなるまちになる	結婚を希望しない若者の割合	14.1%	人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査(平成26年度)	10%	20歳代で結婚を希望しない人の割合を半減させる(全体の約4%減)
	平均初婚年齢(男)	29.6歳(平成24年度)	茨城県保健福祉統計年報	28.0歳	平均初婚年齢=-3.1×1.8(合計特殊出生率)+33.4
	平均初婚年齢(女)	28.2歳(平成24年度)	茨城県保健福祉統計年報	25.0歳	平均初婚年齢=-4.8×1.8(合計特殊出生率)+34.4
2 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる	合計特殊出生率	1.51	平成20-24年ベイズ平均	1.8	人口ビジョン設定
	交流人口	137万人	空港を利用する交流人口(平成26年度)	200万人	周辺地域の整備、空港の利活用を図ることにより、年間約15万人増を目指す
	市イベント関連交流人口	81万人	ふるさとふれあい祭り、産業祭、そらら、文化センター来場者数(平成26年度)	100万人	1.2倍(年間5万人)の増加を目指す
3 わくworkがとまらないまちになる	市民総生産	2,175億円	茨城県市町村概況(平成24年度)	現状維持	雇用の場の確保、高齢者の就業率上昇等から現状維持を目指す
	就業者数(20~40歳代)	15,148人	国勢調査(平成22年)	現状維持	雇用の場の確保、人材育成、起業支援等により、現状維持を目指す
	農産物販売金額	227億円	農業センサス(平成22年度)	現状維持	就農支援、6次産業化支援、ニッチ産業の発掘等により、現状維持を目指す
4 スーッと、ず〜とすすめるまちになる	市内に住んで市内に就職したい割合	12.8%	人口ビジョン・総合戦略に係るアンケート調査(平成26年度)	14%	雇用の創出により「市内に住んで市外で就職したい」という希望(14.1%)と同程度の割合を目指す
	社会移動率	-0.26%	人口ビジョンで設定した社会移動率	-0.18%	人口ビジョン設定
	住みよさランキング	327位	東洋経済「都市データパック」2015年版	300位	約10%ランクアップを目指す(参考:龍ヶ崎市298位)

## 10) 具体的事業一覧

### 政策分野1 恋も子育てもしたくなるまちになる

基本的方向	具体的施策	No.	事業名(案)
1) 私はこのまちで恋をする ～ダイヤのように固く結ばれる恋を～	【施策01】 恋のあこがれをプロデュース	1-1-1	恋愛・結婚イメージアップ
	【施策02】 恋に会おうストーリー	1-2-1	25歳、30歳の同窓会応援
		1-2-2	大人の友達づくり
		1-2-3	多彩な合コン・街コン
		1-2-4	婚活事前講座
		1-2-5	おみたま婚ツアー
		1-2-6	結婚応援団パワーアップセミナー
	【施策03】 人生設計のデザイン	1-3-1	人生収支シミュレーション事業
	2) だから私はこのまちで楽しく子育てする ～ダイヤのように明るく輝く家庭を～	【施策04】 親子の健康をサポート	1-4-1
		1-4-2	ママ・パパ相談室(保護者のメンタルケア支援事業)
【施策05】 子育て安心サポート		1-5-1	ママ・パパリフレッシュ事業
		1-5-2	待機児童ゼロ継続事業
【施策06】 子育て家族に優しいまちの創出		1-6-1	イクメン成長物語事業
		1-6-2	出産子育て情報アプリ
		1-6-3	子ども連れに優しい店舗の推奨
		1-6-4	民間事業者と連携した子育て支援施設の建設
		1-6-5	子育てワンストップ窓口(ネウボラ)推進事業
		1-6-6	家族を育てるプロジェクト
【施策07】 多子世帯・子育て世帯への経済的支援		1-7-1	家賃・住宅取得補助事業
		1-7-2	出産祝い金事業
		1-7-3	不妊治療費助成制度
		1-7-4	医療費助成事業

### 政策分野2 地域の宝を見つけ、磨き、光をあてるまちになる

基本的方向	具体的施策	No.	事業名(案)
1) 地域資源を活かす ～見つけて磨いて光をあてる～	【施策01】 文化のまちのストーリー	2-1-1	文化芸術によるシビックプライド醸成事業
		2-1-2	小美玉市まるごと文化ホール計画
		2-1-3	本が身近にあるまち事業
	【施策02】 空のエリアの活性化	2-2-1	空のイメージづくり事業
		2-2-2	ようこそ小美玉事業
	【施策03】 陸のエリアの活性化	2-3-1	JR羽鳥駅及び駅前広場整備事業
	【施策04】 水辺のエリアの活性化	2-4-1	サイクリングロードパーク事業
		2-4-2	水辺のイベント事業
		2-4-3	霞ヶ浦沿岸地域交流施設整備事業
	【施策05】 おみたまブランドの確立	2-5-1	魅力創造発信事業
		2-5-2	ヨーグルトサミット・スイーツフェスタ開催
		2-5-3	FOREST FARM(フォレストファーム)事業
		2-5-4	農家レストラン事業
		2-5-5	6次産業化支援事業
	【施策06】 交流の活性化	2-6-1	小美玉ファンクラブ拡大事業
		2-6-2	身近なみどり体験事業
		2-6-3	市長と市民のランチミーティング事業



基本的方向	具体的施策		事業名(案)
2) 公民連携に光をあてる ～みんなで磨く～	【施策07】 自由度の高い公民連携の促進	2-7-1	プロジェクトチームの組織化
		2-7-2	民間事業者コラボレーション事業
3) 新たな地域デザインを見つける ～みんなで光る～	【施策08】 行政区の新たな仕組みづくり・見える化	2-8-1	移住者向けコミュニティ情報発信事業
		2-8-2	まちづくり組織支援事業の拡充
		2-8-3	コミュニティ拠点づくり事業
		2-8-4	まちづくり基金の設立

### 政策分野3 わくwork(ワーク)がとまらないまちになる

基本的方向	具体的施策		事業名(案)
1) あらたな「働く」をカタチにする ～原石を見つけ、磨き上げる～	【施策01】 わくwork(ワーク)ストーリー	3-1-1	就農・創業スタートアップ事業
		3-1-2	ビジネスコンテスト事業/地域拠点の魅力づくり事業
		3-1-3	起業フォローアップ事業
	【施策02】 小美玉発のオンリーワン	3-2-1	チャレンジ拠点整備事業
		3-2-2	地域ブランド力強化事業
		3-2-3	ゴールドラッシュ事業(潜在産業発掘)
【施策03】 企業さん、いらっしゃ～い	3-3-1	企業誘致事業	
2) あなたの「働く」を応援する ～ダイヤのように輝いて～	【施策04】 小美玉企業の見える化	3-4-1	市内企業魅力発信事業
		3-4-2	市内就職ウェルカム事業
	【施策05】 働き手キラキラプラン	3-5-1	みらい人材育成事業
		3-5-2	働き手・支え手しゃべり場事業
		3-5-3	がんばるシニア層応援事業
	【施策06】 ハッピーウーマン増し増しプラン	3-6-1	在宅ワーク事業
3-6-2		女性が輝く元気企業応援事業	

### 政策分野4 スーツと、ず～っと住めるまちになる

基本的方向	具体的施策		事業名(案)
1) 小美玉が恋しくなっちゃう ～離れて気付くダイヤのように硬い想 い～	【施策01】 「おかえり」ストーリー	4-1-1	小美玉ガイドンス事業
		4-1-2	オミターン制度
2) 小美玉に住みたくなっちゃう ～あなたにダイヤのような輝きを～	【施策02】 「いらっしゃい」ストーリー	4-2-1	小美玉トライアル事業
		4-2-2	移住相談会事業
		4-2-3	移住・住み替えコンシェルジュ事業
		4-2-4	移住促進住宅取得助成事業
	【施策03】 「心地よさ」ストーリー	4-3-1	女性定住支援事業
		4-3-2	空き家REBOOT(リポート)事業
3) 小美玉から離れられなくなっちゃう ～育つ絆はダイヤのように永遠に～	【施策04】 「住みごこち」ストーリー	4-4-1	地域家族支援事業(住宅ローン支援制度)
		4-4-2	三世代近住促進事業
	【施策05】 「きづくふるさと」ストーリー	4-5-1	学校におけるシビックプライドの醸成
		4-5-2	地域におけるシビックプライドの醸成
4) 小美玉がうらやましくなっちゃう ～ダイヤのように魅力を放つ～	【施策06】 「いいね!小美玉。」ストーリー	4-6-1	トータルデザインによるシティセールスの推進
		4-6-2	総合戦略PR事業
		4-6-3	メディア戦略事業
		4-6-4	小美玉ONLY ONE(オンリーワン)プロジェクト

「小美玉の未来は、シビックプライドとマーケティングが鍵を握ってる」って気づきました。

# 若手職員ワーキングチームのあゆみ

思っていることを口にできる。熱い思いを共有し合える。  
その手腕に長けたリーダーたちに導かれ、ホンネで未来を語り合う若手職員たち。  
いまを見つめ、未来をデザインしてみte気づいたこと。  
それは、シビックプライドとマーケティングでしたー。

## Comment

メンバーの結婚・出産・子育てに対する本音を皮切りにスタート。若者のライフスタイルに合わせた戦略が必要だと感じ、若い女性を中心に取材をしましたが、データでは見えない大切な声を聞けました。卓上の議論だけでなく現場の声!をチームで学びました。



結婚・出産・子育てチーム  
リーダー 井坂麻子



地域の魅力チーム  
リーダー 原田啓司

## Comment

おもしろいまちをつくる3つの要素は、「よそ者・わか者・ばか者」。いろんな角度からものを観て、若い世代ならではのアイデアと創造力、そして、行動力を活かし、とことん進んでいこう!そんなことを考え、メンバーの想いを引き出そうと邁進してきました。助言、指導いただきましたすべての皆様との出会いに心より感謝しております。



## 地方創生に若者の声

地方創生は、地域に人を呼び込むことが重要である。そのためには、地域に魅力を感じ、住みたいと思える環境を整える必要がある。若者は、地域に新しい価値観やアイデアをもたらすことができる。彼らの声を聞き、地域を活性化させるための施策を立案していくことが、地方創生の鍵となる。



Comment

施策を考えるにあたり、雇用メンバーそれぞれが、就職活動したときの想いをもちながら議論することが大切だと考えていました。馬渡先生やそのゼミ生、有識者会議の委員、商工会青年部との意見交換は、参考になることばかりでした。引き続き、この縁を大切にしていきたいです。



雇用チーム  
リーダー 沼田 譲治



移住定住チーム  
リーダー 清水 弘司

Comment

最初に取り組んだのは「ビジョンの共有」でした。メンバーが事例を調べ上げ、その考えや思いに寄り添い、大事にすることを意識して、ビジョンの共有と具現化を進めていきました。また、その過程でメンバーが自分の調べてきた事例をイキイキと提案し、話し合う姿が、いま思えばキラキラと輝くダイヤモンドのようで、誇らしく思っています。



Episode

ホッネを引き出すリーダーたちの手腕に脱帽

ワーキングチームの発足時、事務局も含め、すべてが手探りでした。そんな中で、リーダー達がこれまで培ってきた手腕でメンバーの参画意識を見事に引き出しながら、時に先頭に立って鼓舞し、時に一人ひとりに寄り添うその姿は、とても光り輝いていました。今考えると、それが最初のダイヤモンドだったのかも知れません。リーダーを中心にひとが輝いたワーキングチーム。ひとが輝く…あ、市の将来像が見えてきましたね。事務局：企画調整課 島田竜太郎

Episode

流山市市長直々のレクチャー！ 目指す方向性が見えた日

マーケティング戦略を強力に推進している千葉県・流山市は、近隣の大都市を何歩もリードする“異端”の街づくりをおこなっています。その流山市の井崎市長のご厚意により、市長自らワーキングチームにご教授いただきました。その言葉一つひとつの熱さに触れ、やはり、まちづくりは人次第だと感じ、さらに、地道に内部向けに理解を広げる努力を絶えず行なっていることを知り、深く感じ入りました。「目指す方向」が見えたのは、まさにこの日でした。事務局：企画調整課 磯部朋広



Episode

茨城大学との連携スタート。磨き合うダイヤモンドの原石たち

有識者会議の座長、茨城大学馬渡先生との出会いから、大学との連携がスタートしました。将来性豊かなダイヤモンドの原石である学生から、国内はもとより海外の事例も含めて調査研究結果を提供いただき、同じく原石である若手職員と共に小美玉市の将来についての議論を通して、市の将来に光が見えた気がします。ダイヤモンドの原石たちが互いに磨き合うまち。さすが「金脈」の走る小美玉市！事務局：政策調整課 佐々木 浩

Episode

アグレッシブな行動力とあふれる意欲に感心

20代独身女性たちや商工会青年部、結婚アドバイザーや地域活動の専門家など多くの人たちの元に足を運ぶワーキングチームのアグレッシブな行動力と、ミッション達成へのあふれる意欲に感心しました。WTの皆さんには、今回の経験を各業務に活かすとともに自分たちで創ったプロジェクトにも積極的に関わっていただきたいと思ひます。シビックプライドを風土に！皆さんお疲れ様でした。事務局：子ども福祉課 藤田誠一





---

小美玉市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

平成 28 年 3 月発行

茨城県小美玉市 企画財政部 企画調整課

〒319-0192 茨城県小美玉市堅倉 835

TEL:0299-48-1111 FAX:0299-48-1199

---

